

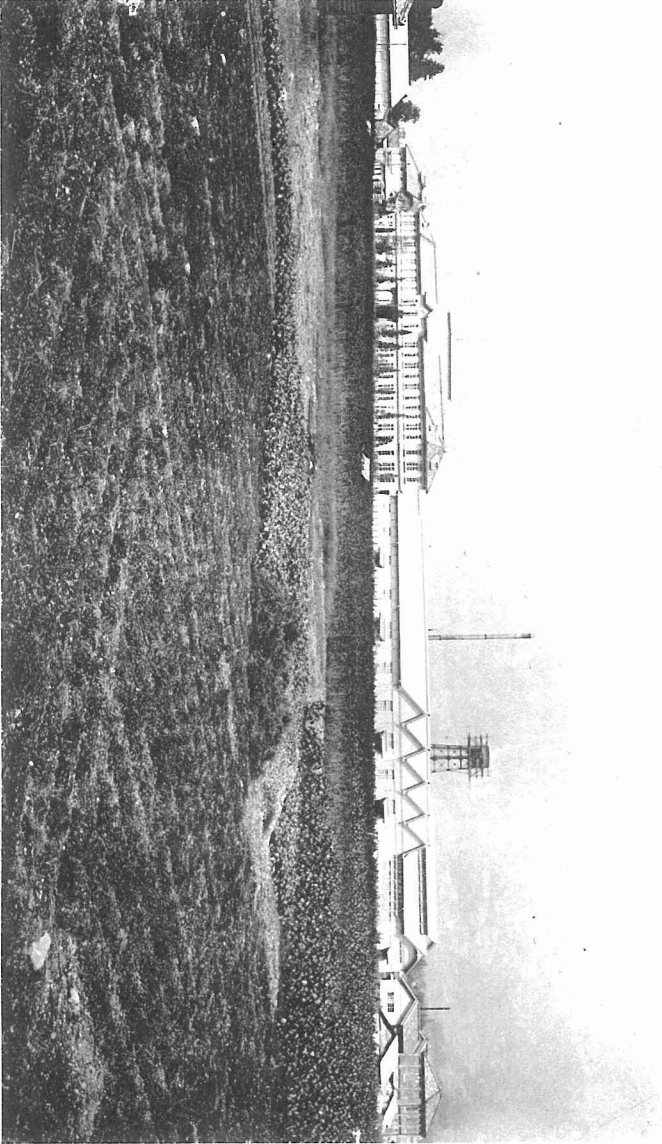
二  
号

圖書部用

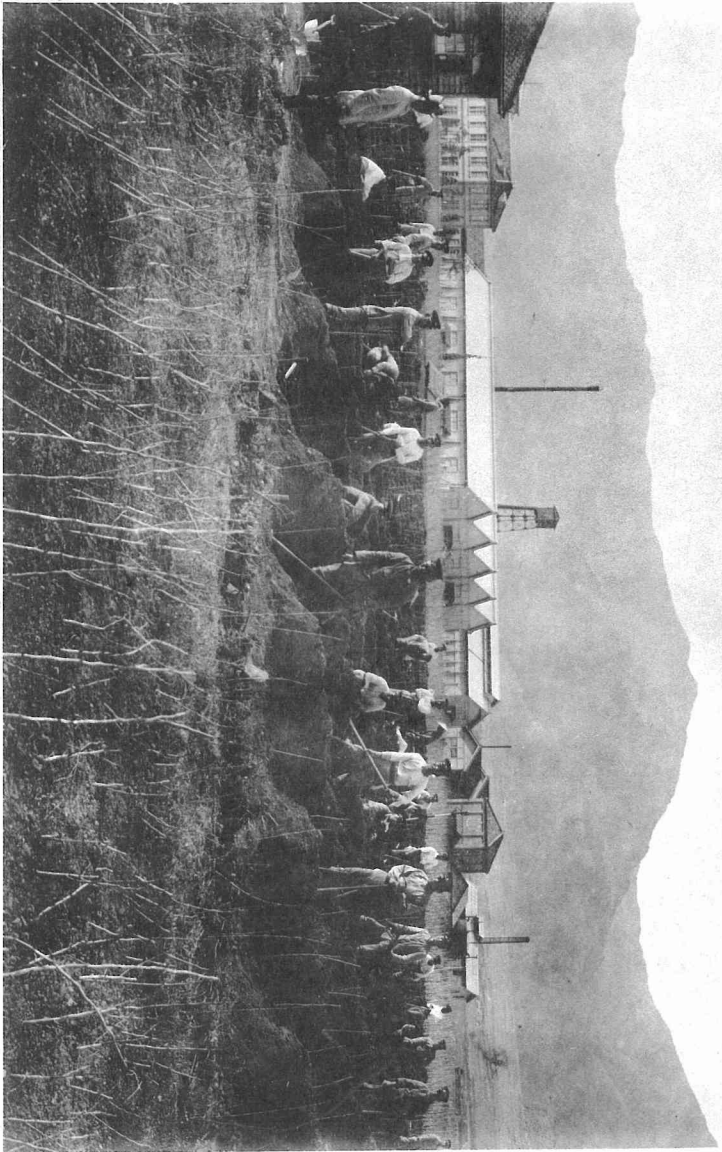
二  
部

上田蠶絲專門學校一覽

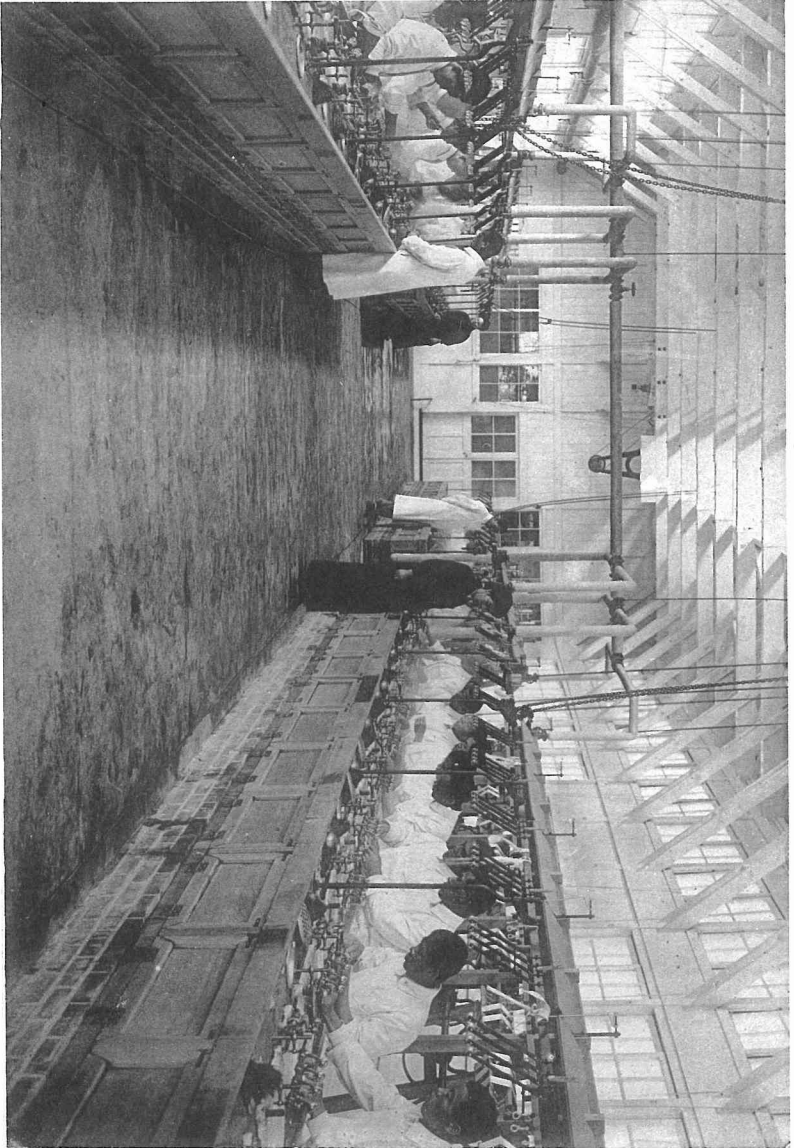
(大正二年四月)



舍 校



學 生 栽 桑 實 況



學 生 製 絲 實 況

# 上田蠶絲專門學校一覽

(自明治四十五年  
至大正二年)

## 目次

第一	學年曆	一頁
第二	沿革略	三
第三	法令	八
一	文部省直轄諸學校官制抄	八
二	文部省直轄諸學校專任職員定員令抄	一一
三	高等官々等俸給令抄	一一
四	判任官俸給令抄	一六
五	文部省直轄諸學校教官俸給ノ支給ニ關スル件	一七
六	文部省直轄諸學校長生徒監特別任用令	一八
七	文部省直轄諸學校長職務規程	一九

八	文部省直轄諸學校雇外國人使用ニ關スル規程	二〇
九	專門學校令抄	二〇
十	實業學校令抄	二一
十一	上田蠶絲專門學校規程抄	二二
十二	實業學校教員養成規程抄	二三
十三	實業教育費國庫補助法抄	二五
十四	文部省直轄實業專門學校委託生規程	二六
十五	專門學校入學者檢定規程抄	二七
十六	甲種程度ノ實業學校卒業者入學ニ關スル件	二九
十七	文部省直轄學校中二箇以上ノ學校へ入學出願者入學方	三〇
十八	文部省直轄諸學校外國人特別入學規程抄	三〇
十九	學生生徒身體檢査規程抄	三二
第四	上田蠶絲專門學校規程	三七
第一章	總則	三七

第二章	學科課程	三八
第三章	學年、學期及休業日	四六
第四章	入學、在學、退學及懲戒	四七
第五章	修業及卒業	五二
第六章	特待生	五三
第七章	入學試驗手數料、授業料、實習實驗費	五三
第八章	研究生	五六
第九章	選科生	五七
第十章	寄宿舍	五八
<b>第五</b>	<b>上田蠶絲專門學校諸規程</b>	<b>六三</b>
一	校務分掌規程	六三
二	職員服務規程	六八
三	校醫服務規程	七〇
四	宿直規程	七一

五	物品會計規定細則	七三
六	成績考查規程	七九
七	學生心得	八二
八	總代規程	八五
九	學生制服規程	八五
十	寄宿舍細則	九五
十一	通學規程	一〇三
十二	授業料規程	一〇五
十三	巡視規程	一〇六
十四	小使規程	一〇七
十五	非常手配規程	一〇八
第六	職員	一一一
第七	學生	一一七



目

次終

目次

附錄

第八 敷地、建物

一	學生氏名	一一七
二	學生地方別	一二六
三	學生出身學校別	一三〇
四	學生修業學校別	一三九
五	學生年齡別	一四〇
六	入學志願者及入學者地方別	一四〇
七	入學志願者及入學者修業學校別	一五二
附錄		
一	上田蠶絲專門學校々友會規則	一五四
二	上田蠶絲專門學校々友會役員	一五八

# 上田蠶絲專門學校一覽

## 第一學年曆

四月一日	第一學期始
四月三日	神武天皇祭
四月十日	春季休業終
四月十七日	本校記念日
五月廿七日	海軍記念日
七月三十日	明治天皇祭
八月一日	夏季休業始(製絲科)
八月三十一日	夏季休業終(製絲科)
八月三十一日	天長節
八月三十一日	第一學期終(製絲科)

上田蠶絲專門學校一覽

九月一日	第二學期始(製絲科)
九月六日	夏季休業始(養蠶科)
秋分日	秋季皇靈祭
九月三十日	夏季休業終(養蠶科)
九月三十日	第一學期終(養蠶科)
十月一日	第二學期始(養蠶科)
十月十七日	神嘗祭
十月第三日曜日	本校運動會
十一月二十三日	新嘗祭
十二月廿五日	冬季休業始
十二月卅一日	第二學期終
一月一日	新年拜賀式
一月一日	第三學期始
一月十日	冬季休業終

二月十一日

紀元節

三月十日

陸軍記念日

春分日

春季皇靈祭

三月二十五日

春期休業始

三月三十一日

第三學期終

## 第二 沿革略

明治四十三年

三月二十六日勅令第六十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ニ改正ヲ加ヘ以テ本校ノ設置ヲ公布セララル

三月廿六日勅令第六十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ニ改正ヲ加ヘ以テ本校職員ノ定員ヲ校長一人、教授四人、助教授四人、書記三人ト定メララル  
八月十三日文部省視學官針塚長太郎本校々長兼文部省視學官ニ任セララル  
八月二十五日文部省告示第二百五號ヲ以テ本校ノ位置ヲ長野縣小縣郡上田

町トシ明治四十四年四月ヨリ授業ヲ開始スル旨告示セララル

八月二十五日 文部省告示第二百六號ヲ以テ本校ノ事務ハ當分ノ間文部省内ニ於テ之ヲ取扱フ旨告示セララル

十二月十三日 付ヲ以テ本校規則制定ノ件許可セララル

十二月十四日 文部省令第三十三號ヲ以テ本校規程ヲ公布セララル

十二月十四日 文部省告示第二百三十七號ヲ以テ甲種程度ノ實業學校卒業者(但シ志望學科ト同種類若クハ類似ノ學科ヲ修メタル者ニ限ル)ヲ本校ノ入學

ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定セララル

十二月十五日 養蠶科製絲科ヲ通シテ約百名ノ生徒ヲ募集ス

明治四十四年

二月二十一日 文部省告示第二十八號ヲ以テ文部省内ニ於テ取扱ヒ來リタル

本校ノ事務ハ全月二十四日ヨリ長野縣小縣郡上田町ノ本校内ニ於テ取扱フ旨告示セララル

三月廿七日ヨリ四日間本校第一回入學試驗ヲ東京、上田ノ二ヶ所ニ於テ施行

ス

三月三十一日勅令第七十三號ヲ以テ本校職員定員令ヲ校長一人、教授六人、助教四人、書記四人ニ改正セラル

四月六日入學志願者四百一名ノ内養蠶科ニ四十九名、製絲科ニ四十五名合計九十四名ニ入學ヲ許可ス

四月十一日勅語謄本下賜セラル

四月十七日日本校始業式ヲ舉行ス

四月十八日入學宣誓式ヲ舉行ス文部省實業學務局長工學博士眞野文ニ臨席セラル

四月十九日授業ヲ開始ス

四月二十四日實業専門學校長會議ノ爲メ上京中タリシ本校々長針塚長太郎參内拜謁仰付ケラル

六月七日本校々長針塚長太郎兼文部省視學官ヲ免セラル

六月十二日 聖上 皇后兩陛下ノ御眞影並ニ教育ニ關スル 御親署ノ勅語

ヲ下賜セラル

六月二十三日日本校々友會發會式ヲ舉行ス

十月二十八日大日本産業組合中央會副會頭前文部大臣小松原英太郎來校參觀セラレ職員學生ニ對シ演說セラル

十二月十二日文部次官福原鏞二郎文部屬高木善行ヲ從ヘテ來校參觀セラル

十二月十五日養蠶科製絲科ヲ通シテ約九十名ノ生徒ヲ募集ス

十二月廿日付ヲ以テ本校物品會計規程細則並ニ帳簿用式制定ノ件許可セラ  
ル

明治四十五年

三月廿五日ヨリ四日間本校第二回入學試驗ヲ東京、廣島及本校ノ三ヶ所ニ於  
テ施行ス

四月五日入學志願者二百七十八名ノ中養蠶科ニ三十七名製絲科ニ三十七名  
合計七十四名ニ入學ヲ許可ス

四月十六日第二回入學宣誓式ヲ舉行ス

四月三十日本校々長針塚長太郎高等官三等ニ陞叙セララル

五月廿九日勅令第三百三十號ヲ以テ本校職員定員令ヲ校長一人、教授十四人、助教授十人、書記五人ニ改正セララル

六月廿六日前文部次官岡田良平來校參觀セラレ講堂ニ於テ一場ノ演說アリ

七月十日本校々長針塚長太郎從五位ニ叙セララル

七月三十日 明治天皇御崩御ニ付御尊影奉拜式ヲ舉行ス

## 大正元年

九月十三日 明治天皇御大喪儀ニ付校長針塚長太郎供奉並葬場殿參列ヲ命

セララル

九月十三日 明治天皇御大喪儀ニ付本校講堂ニ於テ遙拜式ヲ舉行ス

十一月十五日本校工事畧ホ終了シ文部省建築課出張所閉鎖セララル

十一月二十八日本校規則中學科課程休日其他改正ノ件許可セララル

## 大正二年

三月十七日中華民國青海屯墾使胡瑛來校參觀セララル



三月廿四日ヨリ四日間第三回入學試驗ヲ上田東京及京都ノ三ヶ所ニ於テ施行ス

四月一日入學志願者百六十六名ノ内養蠶科三十五名製絲科三十一名合計六十六名ニ入學ヲ許可ス

### 第三 法令

#### 一、文部省直轄諸學校官制

(明治二十六年勅令第八十六號明治四十五年五月二十九日勅令第三百三十號ヲ以テ改正)

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

東京高等師範學校

廣島高等師範學校

東京女子高等師範學校

奈良女子高等師範學校

盛岡高等農林學校

鹿兒島高等農林學校

上田蠶絲專門學校

東京高等商業學校

神戸高等商業學校

長崎高等商業學校

山口高等商業學校

小樽高等商業學校

第一高等學校

第二高等學校

第三高等學校

第四高等學校

第五高等學校

第六高等學校

第七高等學校造士館

第八高等學校

千葉醫學專門學校

岡山醫學專門學校

金澤醫學專門學校

長崎醫學專門學校

新潟醫學專門學校

東京高等工業學校

大阪高等工業學校

京都高等工藝學校

名古屋高等工業學校

熊本高等工業學校

米澤高等工業學校

秋田鑛山專門學校

東京外國語學校

東京美術學校

東京音樂學校

東京盲學校

東京聾啞學校

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

教授

生徒監

助教

書記

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ

監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於

テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ

講師ヲ囑托シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアル

ヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

### 一、文部省直轄諸學校專任職員定員

令抄

(明治三十五年勅令第九十九號  
明治四十五年五月二十九日勅令第三百三十號)

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

上田蠶絲專門學校	一	人	十四	人	十	人	五	人
	校	長	教	授	助教	授	書	記

### 三、高等官官等俸給令抄

(明治四十三年三月二十  
六日勅令第三百三十四號)

第一條 親任式ヲ以テ叙任スル官ヲ除クノ外高等官ヲ分テ九等トス親任式ヲ以

テ叙任スル官及一等官二等官ヲ勅任官トシ三等官乃至九等官ヲ奏任官トス

法 令

文部省直轄諸學校專任職員定員令抄  
高等官官等俸給令抄

第三條 高等官ノ官等ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別表第一表ニ依ル(表畧ス)

官制上他ノ官ニ在ル者ヲ以テ兼任セシムル官ニシテ別ニ官等ヲ定メサルモノハ本官ノ官等ニ依ル

第四條 初メテ高等文官ニ任セラル、者ノ官等ハ六等以下トス

高等文官ニシテ退官シタル者再ヒ高等文官ニ任セラル、場合ニ於テハ其ノ官等ハ前官ノ官等以下トス

但シ前官官等在職年數二年ヲ超エタル者ハ前官ノ官等ニ一等ヲ進ムルコトヲ得

前官ノ官等七等以下ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス陞シテ六等官ニ至ルコトヲ得

第五條 高等文官ノ官等ハ別ニ進級ノ例ヲ定メタルモノ及七等以下ノモノヲ除キ在職二年ヲ超ユルニ非サレハ陞叙スルコトヲ得ス

第十條 (抄出)文部省直轄諸學校教授ニシテ五年以上高等官三等ニアリ功績アル者ハ二十七人ヲ限り高等官二等ニ陞叙スルコトヲ得但シ各校二人ヲ超ユル

コトヲ得ス

第十二條 奏任文官ノ俸給ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別表第二表各號ノ一ニ

依ル

同一ノ官ニシテ官等ニ依リ其ノ俸給ヲ異ニスルモノハ別表第三表ニ依リ各其ノ官等ニ相當スル俸給ヲ給ス

第十三條 別表第二表第一號ニ依ル官ノ官等ハ高等官三等乃至七等同第二號ニ

依ルモノハ高等官四等乃至八等同第三號ニ依ルモノハ高等官五等乃至八等同第四號ニ依ルモノハ高等官六等以下同第五號ニ依ルモノハ高等官三等以下トス

第十二條 別表第二表第五號ニ依ル諸官左ノ如シ抄

文部省直轄諸學校教授

第二十三條 別表第二表第一號第二號ニ依ル職員ハ一級俸ヲ受ケ在職五年以上ニ至リ功績アル者ニ限り五百圓以内ノ年功加俸ヲ給シ其ノ第二號ニ依ル職員ニ在リテハ高等官三等ニ陞叙スルコトヲ得第三號及第四號ニ依ル職員ハ

一級俸ヲ受ケ在職五年以上ニ至リ功績アル者ニ限リ三百圓以内ノ年功加俸ヲ給シ第三號ニ依ル者ニ在リテハ高等官四等ニ第四號ニ依ル者ニ在リテハ高等官五等ニ陞叙スルコトヲ得

第五號ニ依ル諸官及奏任技術官ハ各廳事務ノ繁閑ニ依リ俸給最低額以下ヲ給スルコトヲ得

第三十一條 高等文官死亡シタルトキハ在職最終年俸三分ノ一ヲ其ノ遺族ニ給ス

前項遺族ト稱スルハ官吏遺族扶助法ノ定ムル所ニ依ル

終身官ハ其ノ在職中死亡シタル者ニ限リ前二項ノ規程ヲ適用ス

第三十二條 年俸ハ十二分シテ毎月之ヲ支給ス

第三十三條 俸給ハ新任増俸減俸トモ總テ發令ノ翌日ヨリ計算ス

休職又ハ待命ヲ命セラレ年俸金額ヲ給セサル場合ハ減俸ト看做シ前項ノ規定ヲ適用ス

第三十四條 廢官退官退職及死亡ノトキハ年俸ヲ月割計算トシ當月分ノ全額ヲ

給ス  
 第三十五條 休職廢官退官ノ者事務引繼殘務調理ノ爲メ特ニ命ヲ受ケ事務ニ従  
 事スル場合ニ於テハ其ノ間仍從前ノ年俸ヲ給ス  
 第三十六條 病氣ノ爲執務セサルコト九十日ヲ超ユル者及私事ノ故障ニ依リ執  
 務セサルコト三十日ヲ超ユル者ハ俸給ノ半額ヲ減ス但シ公務ノ爲傷痍ヲ受  
 ケ若ハ疾病ニ懼リ又服忌ヲ受クル者及特旨ニ由リ賜暇休養スル者ハ此ノ限  
 ニ在ラス

附 則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二表 第五號

奏任文官年俸表 (文部省直轄諸學校教授)

一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級
3,000	2,500	2,000	1,800	1,600	1,400	1,250	1,100	1,000	900	850	750



第五表

文部省直轄諸學校長 (東京育學校長東京蠶 吐學校長ヲ除ク)	一級	三、七〇〇
	二級	三、〇〇〇
	三級	二、七〇〇
	四級	二、五〇〇
	五級	二、一〇〇

四、判任官俸給令抄

(明治四十三年三月二十  
六日勅令第百六十五號)

第一條 判任官ノ月俸ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別表ニ依ル

第三條 判任文官ハ每級在職一年以上ニ至ラサレハ増給スルコトヲ得ス

但六級俸以下ノ者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 判任文官ニシテ一級俸ヲ受ケ五年ヲ超エ事務練熟優等ナル者ハ特ニ百

貳拾圓迄ヲ給スルコトヲ得

第五條 判任文官ノ俸給ハ月俸四拾圓未滿ノ者ニ限リ級俸ニ拘ラス適宜ノ金額

ヲ定メ之ヲ支給スルコトヲ得但シ各所ノ最低俸給額ヲ下ルコトヲ得ス

第十三條 判任官死亡シタルトキハ在職最終月俸三ヶ月分ヲ其ノ遺族ニ給ス

前項遺族ト稱スルハ官吏遺族扶助法ノ定ムル所ニ依ル

第十四條 月俸ハ毎月下旬之ヲ支給ス

前項ノ外俸給ノ支給ニ關シテハ高等官官等俸給令ニ依ル

附 則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

月	額	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十二級
		九五 <small>円</small>	七五 <small>円</small>	六五 <small>円</small>	五五 <small>円</small>	五〇 <small>円</small>	四五 <small>円</small>	四〇 <small>円</small>	三五 <small>円</small>	三〇 <small>円</small>	二五 <small>円</small>	二〇 <small>円</small>

### 五、文部省直轄諸學校教官俸給ノ支給ニ

關スル件 (明治四十三年三月廿六日勅令第百五十四號)

第一條 文部省直轄諸學校教官ノ俸給ハ其ノ授業ノ時間又ハ學科ノ難易輕重ニ

依リ最低額以下ヲ給スルコトヲ得

第二條 文部省直轄諸學校教官ニシテ一校又ハ數校ノ教官ヲ兼任スル者ニハ本

法 命 列任官俸給令抄  
文部省直轄諸學校教官俸給支給ニ關スル件

官及兼官ニ於ケル授業ノ時間又ハ學科難易輕重ニ依リ其ノ俸給額ヲ分割シテ各學校ヨリ支給スルコトヲ得

第三條 文部省直轄諸學校ノ囑託講師ニハ教官俸給額ノ中ヨリ相當ノ手當ヲ給スルコトヲ得

第四條 前三條ハ東北帝國大學農科大學附屬大學豫科、土木工學科、林學科、水產學科又ハ臨時教員養成所ノ教授又ハ講師ニ之ヲ準用ス

## 六、文部省直轄諸學校長生徒監特別

### 任用令

(明治三十年四月二十  
二日勅令第百十三號)

文部省直轄諸學校長ハ一ケ年以上奏任教官ノ職ニ在リタル者ニ限り同生徒監ハ左ニ掲クル者ニ限り試験ヲ要セス文官高等試験委員ノ詮衡ヲ經テ任用スルコトヲ得(生徒監ハ明治四十年六月勅令第二百四十六號)

- 一、一箇年以上奏任教官又ハ奏任官待遇ノ教職ニ在リタルモノ
- 一、三箇年以上判任教官又ハ判任官待遇ノ教職ニ在リタルモノ

## 七、文部省直轄諸學校長職務規程(明治三十三年六月十八日文部大臣訓令)

第一條 校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大

臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條 左ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ

但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

第一、教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムルコト

第二、規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト

第三、俸給月額四十圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト

第四、職員以下内國各地出張ニ關スルコト

第五、職員以下ノ除服出仕請假ニ關スルコト

第六、囑托講師ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト

第七、經費中ノ節ヲ流用スルコト

第八、經伺ノ暇ナキ緊急ノ場合ニ於テ臨時休業ヲ爲スコト

法令 文部省直轄諸學校長生徒監特別任用令 文部省直轄諸學校長職務規程

第三條 前條ニ掲ケタル事項ノ外總テ文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

第四條 校長ハ每會計年度ノ終ニ於テ前年ノ功程ヲ具シ文部大臣ニ報告スヘシ

## 八、文部省直轄諸學校雇外國人使用ニ

關スル規程

(明治二十六年九月九日勅令第九十六號)

帝國大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

## 九、專門學校令抄

(明治三十六年三月廿七日勅令第六十一號)

第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス

專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上

二ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

第六條 專門學校ノ修業年限ハ三ケ年以上トス

第七條 專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條 官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

## 十、實業學校令抄

(明治三十二年二月七日勅令第二十九號)

第一條 實業學校ハ工業、農業、商業等ノ實業ニ從事スル者ニ須要ナル教育ヲ爲スヲ以テ目的トス

第二條 實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校及實業補習學校トス

實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス

法 令 文部省直轄諸學校雇外國人使用ニ關スル規程  
專門學校令抄 實業學校令抄

實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

蠶業學校、山林學校、獸醫學校及水産學校等ハ農業學校ト見做ス

徒弟學校ハ工業學校ノ種類トス

第八條 實業學校ノ終業年限、學科、學科目及其ノ程度ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十四條 實業學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルコトヲ得

第十五條 本令施行ノ爲ニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

## 十一、上田蠶絲專門學校規程抄

(明治四十三年十二月十四日  
日文科省令第三十三號)

上田蠶絲專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並研究生及選科生ニ關スル規程ヲ定ムルコト左ノ如シ

### 上田蠶絲專門學校規程

第一條 上田蠶絲專門學校ノ修業年限ハ三箇年トス

第二條 上田蠶絲專門學校ノ學科ハ養蠶科及製絲科トス

第三條 上田蠶絲專門學校各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ教授定時間外又ハ休業期間ニ於テ臨時講演ヲ聽カシメ又ハ實習ヲ課スルコトアルヘシ

學科目等略之

第四條 卒業者ニシテ既修ノ學科目ニ就キ研究セントスル者ハ研究生トシテ二箇年以内在學セシムルコトヲ得

第五條 各學科中ノ一學科目若ハ數學科目ヲ專修セントスル者ハ選科生トシテ在學ヲ許スコトヲ得

## 十二、實業學校教員養成規程抄

(明治三十五年四月二日  
日文科省令第九號)

第一條 (前略)官立實業學校(中略)生徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事スヘキ者(中略)ニハ學資ヲ補給スルコトアルヘシ  
補給スヘキ金額ハ一箇月六圓以内トス(以下略)

第二條 前條ニ依リ學資ノ補給ヲ受ケタルモノハ卒業ノ日ヨリ學資ノ補給ヲ受



ケタル年限ニ一箇年ヲ加ヘタル期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ敎職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス

但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ敎職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

第二條ノ二 學資補給ヲ受ケタル者ニシテ前條ノ義務期間内ニ於テ私費ヲ以テ學校ニ入學シ若クハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ文部大臣ハ時宜ニ因リ之レヲ許可スルコトアルヘシ

前項ニヨリ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若クハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス

第二條ノ三 第二條ノ義務期間内ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲任意就職シタル者ハ其旨直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ其ノ就職ヲ罷メ又ハ之レヲ變更シタルトキ亦同シ

前條ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若クハ歸朝シタル時ハ直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ

第三條 學資ノ補給ヲ受クル者半途ニシテ退學シ若クハ第二條ノ義務ヲ盡サ、  
ルトキ又ハ第二條ノ二第一項ノ許可ヲ受ケスシテ入學若クハ留學シタルト  
キハ補給シタル學資ヲ償還スヘキモノトス

但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコト  
アルヘシ

第三條ノ二 第二條ノ規定ニ依リ實業學校及其ノ他ノ教職ニ従事スル者ニ其ノ  
義務期間内ニ於テ轉任退職若クハ休職ヲ命セントスルトキハ事由ヲ具シ豫  
メ文部大臣ノ指揮ヲ受クヘシ

第四條 第一條ノ學生生徒ノ員數及養成所ニ募集スヘキ員數ハ毎年文部大臣之  
レヲ定ム

### 十二、實業教育費國庫補助法抄

(明治二十七年六月十  
二日法律第二十一號)

第一條 實業教育ヲ獎勵スル爲國庫ハ毎年豫算ヲ以テ定ムル所ノ金額ヲ支出ス  
第二條 公立ノ工業、農業、商業、商船學校、徒弟學校及實業補習學校ニシテ實業ノ教

育ニ效益アリト認ムルトキハ文部大臣ハ其ノ學校ニ補助金ヲ交付スヘシ  
監督官廳ノ認可ヲ經タル農工商組合ニ於テ設立シタル實業學校ハ文部大臣  
ノ特別ノ認定ニ依リ前項ニ準スルコトヲ得

第七條 第二條ニ掲クル學校ノ教員ヲ養成スルノ必要アルトキハ文部大臣ハ第  
一條ニ掲タル金額ヨリ八分ノ一以內ヲ支出シ其ノ費用ニ充ツルコトヲ得

#### 十四、文部省直轄實業專門學校委託生

##### 規程

(明治四十年七月廿五日)  
文部省令第二十三號)

第一條 北海道府縣郡市町村其ノ他ノ公共團體及私人ハ文部省直轄實業專門學  
校生徒ニシテ卒業後其ノ公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ敎職ニ從  
事スヘキ者ニ學資ヲ補給シ委託生トシテ在學セシムルコトヲ得

第二條 公共團體又ハ私人ハ委託生ノ選定ヲ當該學校長ニ委囑スルコトヲ得

第三條 公共團體又ハ私人ヨリ委託生ニ補給スヘキ學資ハ一箇月拾圓以上トス

第四條 委託生ニハ授業料ヲ徵收セス

第五條 委託生ハ卒業ノ日ヨリ學資補給ヲ受ケタル期間ニ一箇年ヲ加ヘタル期間當該公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ敎職ニ従事スヘキ義務ヲ有ス

第六條 委託生ニシテ在學中半途退學シ又ハ委託生タルコトヲ止ムルトキ若クハ卒業後左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ補給ヲ受ケタル學資ヲ當該公共團體又ハ私人ニ償還スヘシ

但シ當該公共團體又ハ私人ニ於テ酌量スヘキ情狀アリト認めタルトキハ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトヲ得

一、前條ノ義務ヲ盡サ、ルトキ

二、懲戒免職ニ處セラレタルトキ

三、免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタルトキ

第七條 學校長ハ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

## 十五、專門學校入學者檢定規程

(明治三十六年三月三十日  
日文部省令第十四號)

法 令

文部省直轄實業專門學校委託生規程  
專門學校入學者檢定規程

第一條 專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業セサル者ハ此規程ニ依リ檢定ヲ受クヘキモノトス

第二條 檢定ヲ受ケントスル者ハ左ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス

一、 年齢男子ハ滿十七年以上女子ハ滿十六年以上ナルコト

二、 身體健全ナルコト

三、 品行方正ナルコト

四、 現ニ中學校若クハ高等女學校ニ在學セサルコト

第三條 檢定ヲ分テ試験檢定、無試験檢定ノ二トシ試験檢定ハ官立、公立ノ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ニ於テ便宜之ヲ行ヒ無試験檢定ハ當該專門學校ニ於テ生徒入學ノ際之ヲ行フ

第四條 試験檢定ノ學科目及其ノ程度ハ中學校若クハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ各學科目及其ノ卒業ノ程度トス但シ中學校若クハ高等女學校ニ於テ加除シ又ハ課セサルコトヲ得ル學科目ハ之ヲ省ク

第五條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ニ於テハ試験檢定ニ合格シタルモ

ノニハ試験檢定合格證書ヲ交付スヘシ

第六條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ニ於テハ試験檢定ノ問題及答案成績表ハ五ヶ年以上保存スヘシ

第七條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ハ試験檢定手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第八條 左ニ掲クル者ハ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得

- 一、文部大臣ニ於テ専門學校ノ入學ニ關シ中學校若クハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル者
- 二、明治三十五年文部省告示第八十二號ニ依リ高等學校入學ノ豫備試験ニ合格シタル者

## 十六、甲種程度ノ實業學校卒業者入學ニ

關スル件

(明治四十三年十二月十四日  
日文科省告示第二三七號)

明治三十六年文部省令第十四號專門學校入學者檢定規定第八條第一號ニ依リ左記ノ者ヲ上田蠶絲專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定ス

一、甲種程度ノ實業學校卒業者但シ志望學科ト同種類若クハ類似ノ學科ヲ修メタル者ニ限ル

### 十七、文部省直轄學校中二個以上ノ學校へ

入學出願者入學方

(明治三十六年文部省告示第九十六號)

同一人ニシテ文部省直轄諸學校中ノ二個以上ノ學校ニ入學ヲ出願シタル者ハ其最前ニ入學許可セラレタル學校ニ入學スヘキモノトス但シ同時ニ二箇以上ノ學校ニ入學ヲ許可セラレタル者ノ入學スヘキ學校ハ本人ノ選擇ニ任ス

### 十八、文部省直轄諸學校外國人特別入學規

程

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若クハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若クハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若クハ學校長ニ於テ前條ノ願出ヲ受ケタル時ハ相當ノ學力アリト認メタルモノニ限リ之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此限ニアラス

第四條 本令ノ規程ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規程ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料、入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

法 令

文部省直轄學校中二個以上ノ學校ヘ入學出願者入學方  
文部省令直轄諸學校外國人特別入學規程



附 則

第七條 本令施行ノ際文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規程ニ依ラス在學スル外國人ハ本令ニ依リ入學シタルモノト看做ス

第八條 明治三十三年文部省令第十一號文部省直轄學校外國委託生ニ關スル規程ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

十九、學生生徒身體檢查規程抄

(明治三十三年文部省令第四號)

第一條 學生生徒ノ身體檢查ハ每年四月ニ於テ之ヲ施行スヘシ(明治三十五年二月廿六日文科省令第一號ヲ以テ改正)

學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ學生生徒ニ就キ臨時身體檢查ノ全部若クハ一部ヲ施行スルコトヲ得

第二條 明治三十一年勅令第二號第一條第二項ニ依リ學校醫ヲ置カサル町村立學校及私立ノ小學校及各種學校ハ本令ノ身體檢查ヲ行ハサルコトヲ得

第三條 身體檢查ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ但シ學校醫ヲ置カサル場合ニ於テハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第四條 身體検査ハ左ノ項目ニ就キ施行スヘシ

- 一、身長
- 二、體重
- 三、胸圍
- 四、脊柱
- 五、體格
- 六、視力
- 七、眼疾
- 八、聽力
- 九、耳疾
- 十、齒牙
- 十一、疾病

小學校生徒ニ在リテハ視力及聽力ノ二項目ヲ検査スルコトヲ要セス但シ著シキ障害アリト認ムル者ハ此限リニアラス

第五條 身體検査ハ左ノ各號ニ準據シテ施行スヘシ

一、検査ノ表記ニハ度ハ尺、衡ハ貫ヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒテ度ハ分、衡ハ勿ニ止ムベシ

二、身長ヲ測定スルニハ足袋靴ヲ脱セシメ兩蹠ヲ密據シテ直立シ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保タシムヘシ又女子ニシテ鬢アル者ハ小髻ヲ鬢下ヨリ水平ニ横ヘテ測定スヘシ

三、體重ハ着衣ノ儘測定シタルトキハ其ノ着衣ノ重量ヲ全重量ヨリ除去スヘシ

四、胸圍ハ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ自然ノ位置ニ在ラシメ乳頭ノ水平線ニ於テ

常時ヲ測定スヘシ充盈、空虛ノ差ヲ測定スルトキ亦同シ但シ小學校生徒ニ在リテハ常時ノミヲ測定スルモノトス

五、脊柱ハ正、左彎、右彎、前屈、後屈ヲ検査シ屈彎ニ就キテハ其ノ程度ニ依リ各強中弱ノ三種ニ區別スベシ

六、體格ハ強健、中等、薄弱ノ三等ニ區別スヘシ

七、視力ハ中心視力ヲ兩眼ニ就キテ各別ニ検査スヘシ

八、聽力ハ其ノ障害ノ有無ヲ検査スヘシ

九、齒牙ハ齶齒ニ就キ検査スヘシ

十、疾病ハ腺病、營養不良、貧血、脚氣、肺結核、頭痛、衄血、神經衰弱、鼻疾、咽喉病、傳染性皮膚病其ノ他慢性疾患等検査ノ際ニ發見シタルモノヲ記入スヘシ

前各號ノ外身體検査上必要ト認メタル事項ハ特ニ検査ヲ行フヘシ

第六條 身體検査ヲ施行シタルトキハ左ノ様式ニ依リ身體検査票ヲ調製スヘシ

身 體 檢 査 票

校名(科何)		田上		蠶絲		專門		學科		校番	
姓	名	身	體	胸	圍	脊	體	胸	圍	脊	體
出生年月	長	重	常	盈	虛	柱	時	時	差	格	格
年	月										
年	月										
學	力	視	眼	聽	耳	齒	齒	牙	疾	注	備
年	右	左	疾	力	疾	上	下	下	病	意	考
地	左	右				頰	頰	頰		事	姓
						齒	齒	齒		項	名
						數	數	數		印	印

第六條ノ二 身體検査ヲ施行シタル時ハ學校長ハ各本人ニ關スル検査ノ結果ヲ

學生生徒又ハ其ノ保護者ニ示スベシ

第七條 身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ左ノ様式ニ依リ統計表ヲ調製シ

翌月限リ文部省直轄學校長ニ在リテハ文部大臣ニ其ノ他ノ學校長ニ在リテ

ハ地方長官ニ報告スヘシ

地方長官ハ前項ノ報告ヲ受ケタル片ハ之レヲ取纏メ其ノ年六月限リ文部大

上田蠶絲專門學校生徒身體檢查統計表

(年月検査)

年 齡		何年	何年	何年	何年
身長	總長				
	最大				
	最小				
	平均				
體重	總重				
	最大				
	最小				
	平均				
胸圍	常時	總長			
		最大			
	盈虛ノ差	總長			
		最大			
脊柱	左彎	正			
		強中弱			
	右彎	強中弱			
		強中弱			
	前屈	強中弱			
		強中弱			
	後屈	強中弱			
		強中弱			
體格	強中弱				
	健等弱				
視力	兩眼	正視			
		遠視			
		近視			
	左眼	其ノ他			
		正視			
		遠視			
右眼	近視				
	其ノ他				
	正視				
眼疾	トヲホーム				
	其ノ他				
聽力	障害アル者				
耳	疾				
齒牙	齲齒アル者				
疾病					
檢 查 人 員					
備 考					

一、本表ハ男生徒女生徒ヲ置クモノ及ビ學科ノ部類ヲ異ニスルモノハ各別ニ調製スヘシ  
 一、年齢ハ四月一日ノ計算ニヨリ滿六年一日以上滿七年迄ノ者ヲ七年トシ其他之ニ準ス  
 一、身長、胸圍ニ係ル總長、體重ニ係ル總重ノ各欄ニハ孰モ同一年齡ニ於ケル各検査人員ノ身長、胸圍  
 又ハ體重ノ各合計ヲ掲ゲ最大最小ノ各欄ニハ其ノ検査人員中ノ最大最小ナルモノヲ掲ゲ平均ノ

臣ニ報告スヘシ

上田蠶絲專門學校 一覽

各欄ニハ其ノ検査人員ヲ以テ身長、胸圍ノ總長又ハ體重ノ總長ヲ除シタル商ヲ掲クヘシ

一、視力ニ就キテハ兩眼ノ欄ニハ兩眼トモ正視、遠視、近視、又ハ其他(亂視、斜視、弱視)ノ者ノ人員ヲ掲ゲ左眼又ハ右眼ノ欄ニハ左眼又ハ右眼ノ一方ノミ正視、遠視、近視又ハ其他(亂視、斜視、弱視等)ノ者ノ人員ヲ掲クヘシ但シ失明者ニ關シテハ兩眼又ハ片眼ニ區別シ備考ノ欄ニ於テ其ノ數ヲ示スヘシ

一、検査スヘキ項目ノ一部ノ検査ヲ缺キタル者ハ之ヲ表中ニ計入スヘカラス

一、外國人ニ係ルモノハ之ヲ計入スヘカラス

一、備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ關シ説明ヲ要スル事項其ノ他特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

一、學校ニ於ケル重ナル疾病ノ原因及豫防等ニ關シ學校醫等ノ意見アルトキハ之ヲ表末ニ附記スヘシ

## 第四 上田蠶絲專門學校規則

### 第一章 總 則

第一條 本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ蠶絲業ニ從事スヘキ者ニ高等ノ學術、技藝ヲ教授スルヲ以テ目的トス



蠶業汎論	農學大意	昆蟲學	土壤肥料學	農蠶業經營學	簿記	法制及經濟學	生理化學	化學	物理學及氣象學	植物學	動物學	測量學	數學	國語漢文	修身
二	二								一					二	一
一	二							二	四	三	三		四	一	一
一	二	一	一					二	四	三	三		四	一	一
		一	一											一	一
	二	二	三			三		二	二					一	一
	二	二	三			三		三				二		一	一
				二	一	二								一	一
				二	一	三	二							一	一
				二	一	三	二							一	一



養蠶學	蠶種學	桑樹論	蠶體生理及蠶體解剖學	微生物及蠶體病理學	製絲論	殺蛹乾繭及屑物整理論	織維學	英語	第二外國語(獨逸語)	體操	計
五								三	二	二	一八
二		一						三	二	二	三二
二		一						三	二	二	三三
三				二				三	二	二	一八
			二	三				三	二	二	三〇
		二	三	三				三	二	二	三二
									二		一五
	二				二		二	三	二		二三
二					一		二	三	二		二二

備考

每週教授時數ハ實習ノ繁閑ニ依リ之ヲ増減スルコトアルヘシ但シ修身ノ每週教授時數ハ之ヲ減スルコトヲ得ス

第二外國語ハ之ヲ隨意科目トス

實習實驗ノ部 (每週教授回數)

學科目	蠶兒飼育	蠶種檢查	蠶具製造	蠶體解剖	蠶體病理	蠶病消毒	圃場實習	製物整理	屑物乾繭	殺蛹繭	生絲檢查	動物實驗	學年		
													學期	學期	學期
							無定時						第一學年		
							同上					—	第二學年		
							同上					—	第三學年		
							同上		—				第一學年		
							同上			—			第二學年		
							同上						第三學年		
							同上			—			第一學年		
							同上					—	第二學年		
													第三學年		



蠶業 況論	商 事 要 項	工 場 衛 生	工 場 管 理 論	屑 物 整 理 論	生 絲 整 理 及 生 絲 檢 查 論	織 維 學	製 絲 學	製 絲 原 料 論	製 絲 業 經 營 學	簿 記	法 制 及 經 濟 學	機 械 工 學	化 學	應 用 力 學	物 理 學
一								一							
	一			一			一	二					二		四
				一			二	一					二		四
					一		一	二				三	三	二	
					一	二	二				三	三	三	一	
					二	二	二				三	四	三	二	
	一	一	一			一			二	一	二				
	二	一	二						二	二	三				
	二		一						一	二	三				

蠶桑論	絹絲紡績論	色染論	撚絲及機織論	英語	第二外國語(佛蘭西語)	體操	計
四				三	二	二	一九
二				三	二	二	二六
二				三	二	二	二六
一				三	二	二	二二
一				三	二	二	二五
				三	二	二	二六
				二	二		二二
				三	二		二五
				二	二		一八

備考 每週教授時數ハ實習ノ繁閑ニ依リ之ヲ増減スルコトアルヘシ但シ修身ノ每週教授時數ハ之ヲ減スルコトヲ得ス

第二外國語ハ之ヲ隨意科目トス

實習實驗ノ部 (每週教授回数)

學科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	學期	學期	學期	學期	學期	學期	學期	學期	學期
繭檢査	一	一	一						

物理實驗	顯微鏡使用	蠶兒飼育	機關取扱	機械設計及製圖	工場管理	機織	色染	紡績	撚絲	殺蛹乾繭貯繭	購繭	製絲	生絲整理	屑物整理	生絲檢查
		二								二					二
一			無定時		無定時							一			二
一			同上		同上							一			一
	無定時		同上		同上					二	一	二	一		一
			同上	一	同上					一		一	一		一
			同上	一	同上							一	一		一
			同上	一	同上			一	一	二	一	二	一		
			同上	一	同上		一	一				一	一		
			同上	一	同上	一						二	一		

化學實驗

備考 各實驗實習一回ノ時間ヲ三時間トス

製絲實習ハ一回一日トス

購繭(無定時)殺蛹乾繭貯繭(無定時)蠶兒飼育(無定時)ノ回数ハ一學期間ノ回数トス

第三章 學年、學期及休業日

第六條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條 學年ヲ分テテ左ノ三學期トス

第一學期ハ四月一日ニ始マリ養蠶科ハ九月三十日、製絲科ハ八月三十一日ニ終ル

第二學期ハ養蠶科ハ十月一日、製絲科ハ九月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三學期ハ一月一日ニ始マリ三月三十一日ニ終ル

第八條 休業日ハ左ノ如シ

一、祝日、大祭日

二、日曜日

一、本校紀念日 四月十七日

二、春季休業 自三月二十五日  
至四月十日

一、夏季休業 養蠶科 自九月六日  
至九月三十日

製絲科 自八月十一日  
至八月三十一日

一、冬季休業 自十二月二十五日  
至翌年一月十日

### 第四章 入學、在學、退學及處罰

第九條 學生ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始メ一箇月以内トス

第十條 各學科第一學年ニ入學ヲ許スヘキ者ハ品行方正、志望鞏固、年齡十七年以

上ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且入學試験及體格検査ニ合格シタル

者タルヘシ



一、中學校ヲ卒業シタル者

二、專門學校入學者檢定規程ニ據ル試験檢定ニ合格シタル者

三、專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル者

四、甲種程度ノ實業學校ヲ卒業シタル者但シ志望學科ト同種類若ハ類似ノ學科ヲ修メタル者ニ限ル

前項第一號第三號又ハ第四號ニ該當スル學校ニ在學シ本校入學試験期日前ニ卒業スヘキ見込アル者ハ當該學校長ノ證明ヲ得テ入學試験ヲ受クルコトヲ得

第十一條 入學試験ノ學科目ハ國語、漢文、英語、數學、物理、化學、動物、植物トシ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行ヒ別ニ體格檢査ヲ行フ

第十二條 入學ヲ出願スル者ハ第二條ニ掲ゲタル學科中ニ就キ其ノ志望學科ヲ定メ左ノ書類ニ入學試験手数料及寫眞、入學志願前六箇月以内ニ撮影シタル脱帽半身手札形ヲ添へ學校長ニ差出スヘシ

一、入學願書（第一號書式）

二、履 歷 書 (第二號書式)

三、戸 籍 抄 本

四、第十條第一號第三號又ハ第四號ニ該當スル學校長ノ卒業證明書第三號書式若ハ第三號合格證明書(第四號書式)

第十三條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ許可ノ日ヨリ二十日以内ニ保證人ノ署名セル誓書(第五號書式)ヲ本校ニ差出スヘシ

第十四條 保證人ハ成年以上ノ男子ニシテ上田町又ハ同町附近ノ地ニ住所ヲ有シ學生在學中ニ係ル一切ノ事件ニ就キ其ノ責ニ任スヘキモノタルヘシ

上田町又ハ同町附近ノ地ニ於テ保證人ヲ得難キトキハ父兄又ハ後見人ヲ以テ保證人ト爲スコトヲ得

第十五條 保證人死去若ハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキ又ハ學校ニ於テ不適當ナリト認メタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ直ニ誓書ヲ本校ニ差出スヘシ

第十六條 保證人改姓改名改印轉居等ヲ爲シタルトキハ速ニ届出ツヘシ

第十七條 本校ヲ退學シタル者再入學ヲ願出テタルトキハ缺員アル場合ニ限り

詮議ノ上試験ヲ行ヒ原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ場合ニ依リ試験ヲ省略ス試験ノ全部ヲ省略シタルトキハ入學試験手数料ヲ徴收セス

第十八條 學生ハ本校所定ノ制服制帽ヲ着用スヘシ

第十九條 學生疾病其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ缺席スル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ三日以内ニ届出ツヘシ但シ病氣ノ爲メ缺席七日以上ニ亘ル者ハ醫師ノ診断書ヲ添付スルヲ要ス

第二十條 學生疾病ニ依リ引續キ三箇月以上修業シ能ハスト思料スルトキハ醫師ノ診断書ヲ添へ保證人連署ヲ以テ願書ヲ學校長ニ差出シ許可ヲ得テ其ノ學年間休學スルコトヲ得但シ休學中其ノ事由消滅シタルトキハ許可ヲ得一學科目又ハ數學科目ノ授業ニ出席スルコトヲ得

前項ニ依リ休學ヲ許可セラレタル者ハ次學年ノ始メヨリ更ニ原級ノ課程ヲ修ムヘシ

第二十一條 學生改姓、改名、改印、轉籍等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨直ニ届出ツヘシ但改姓、改名、轉籍ニハ戶籍抄本ヲ添フルヲ要ス

第二十二條 學生在學中兵役ニ服スル者ハ學校長ノ許可ヲ得テ其ノ間休學スル

コトヲ得

前項ニ依リ休學ヲ許可セラレタル者服役ヲ終リタルトキハ直ニ原級ニ復歸  
スヘシ

第二十三條 學生ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入り又ハ他  
學校若ハ官署ニ於ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受クルニハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ノ上學校長ニ願出ツヘ  
シ

第二十四條 學生已ムヲ得サル事由ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具  
シ保證人連署ノ上學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ疾病ニ因リ退學セン  
トスル場合ニ於テハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第二十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ退學ヲ命ス

一、 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二、 學業劣等若ハ身體虛弱等ニ依リ成業ノ見込ナシト認メタル者

三、引續キ一箇年以上缺席シタル者但シ休學ノ許可ヲ受ケタル者ハ此ノ限  
リニ在ラス

四、正當ノ事由ナクシテ引續キ三十日以上缺席シタル者

五、正當ノ事由ナクシテ屢缺席シ出席常ナラサル者

六、授業料滯納二週日ニ亘ル者

第二十六條 學生ニシテ校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ其ノ本分ヲ失ヘリト  
認ムヘキ行爲アル者ハ學校長之ヲ處罰ス

處罰ハ分テ譴責、停學、放校トス

## 第五章 修業及卒業

第二十七條 各學年ノ課程修了ハ該學年中平素ノ勤惰及學業ノ成績等ヲ考查シ  
テ之ヲ定ム

第二十八條 前條ノ考查ニ合格セサル者ニハ次學年ノ始メヨリ原級ノ課程ヲ再  
修セシムルモノトス

第二十九條 已ムヲ得サル事由ニ依リ試験ニ缺席シタル者追試験ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ次學期ノ始メ二週日以内ニ之ヲ行フ

第三十條 第三學年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十一條 第三學年ノ成績考查ニ合格セサル者ニハ本人ノ希望ニ依リ詮議ノ

上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第三十二條 成績考查ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

## 第六章 特待生

第三十三條 學生品行方正ニシテ學業ニ熱心シ一學年中ノ成績優良ナル者ハ學

校長之ヲ選ミテ次學年間特待生ト爲スコトアルヘシ

第三十四條 特待生ニハ授業料ヲ徵收セス

第三十五條 特待生ニシテ其ノ資格ヲ失ヒタル者ハ直ニ特待生タルコトヲ罷ム

## 第七章 入學試験手数料、授業料、實習實驗費

第三十六條 入學試験手数料ハ金參圓トス

第三十七條 授業料ハ一學年本科生及研究生ハ金貳拾五圓選科生ハ金拾五圓ト

ス

外國人ニシテ特別ニ入學ヲ許可セラレタル者ノ授業料ハ一學年本科生及研究生ハ金五拾圓選科生ハ金參拾圓トス

第三十八條 授業料ハ一箇年ヲ左ノ三期ニ分チ每期ノ始メニ於テ之ヲ徴收ス

本科及研究生 同選科生 外國人本科及研究生 同選科生

第一期 自八月 至八月 金拾圓 金貳拾圓 金拾圓

第二期 自九月 至十二月 金八圓 金五圓 金拾五圓 金拾圓

第三期 自一月 至三月 金七圓 金五圓 金拾五圓 金拾圓

第三十九條 研究生及選科生ニハ實習實驗ニ要スル費用ノ全部若ハ一部ヲ徴收スルコトアルヘシ

第四十條 入學試験手数料授業料及實習實驗費ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖モ之ヲ返付セス

第四十一條 實業學校教員養成規程ニ依ル學資補給希望者ニ對シテハ其ノ補給決定ニ至ル迄授業料徴收ヲ猶豫シ補給生トナリタルトキハ之ヲ徴收セス

第四十二條 停學ヲ命セラレタル者又ハ休學ヲ許可セラレタル者ハ其ノ期間内授業料ヲ徴收セス但シ授業料徴收期日以前ニ停學又ハ休學シタルトキハ其ノ期ノ授業料ハ本科及研究生ハ金貳圓五拾錢選科生ハ金壹圓五拾錢外國人本科及研究生ハ金五圓同選科生ハ金參圓トシテ指定ノ日ニ於テ之ヲ納付スヘシ

第四十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ノ其ノ期ニ於ケル授業料ハ其ノ月ヨリ一箇月本科及研究生ハ金貳圓五拾錢選科生ハ金壹圓五拾錢外國人本科及研究生ハ金五圓同選科生ハ金參圓ノ割ヲ以テ指定期日内ニ納付スヘシ但シ納付金ノ總額ハ當該期ノ定納額以内トス

- 一、 特待生ノ資格消滅シタル者
- 二、 停學ヲ解除セラレ就學シタル者
- 三、 休學ノ事故止ミ就學シタル者



四、學期ノ半途ニ於テ入學ヲ許可セラレタル者

第四十四條 授業料ハ定日ニ納付スヘシ但シ定日以後ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ入學許可ノ日ヨリ五日以内ニ之ヲ納付スヘシ

第四十五條 授業料ヲ定日ニ納付セサルトキハ本人ニ之ヲ催告シ尙納付セサルトキハ保證人ニ之ヲ催告ス

前項ノ催告ヲ受ケ尙納付セサルトキハ第二十五條ニ依リ處分ス

## 第八章 研究生

第四十六條 本校卒業者ニシテ既修ノ學科目ニ就キ更ニ研究セント欲スル者アルトキハ證議ノ上研究生トシテ二箇年以内在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十七條 研究生タラント欲スル者ハ其ノ研究セント欲スル事項及在學ノ期間ヲ具シタル願書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第四十八條 研究生ハ學校内ニ於テ研究ニ從事スル者トス但シ必要ノ場合ニ於テハ或ル期間ヲ限リ指導教官指揮ノ下ニ學校外ニ於テ研究スルコトヲ許可

スルコトアルヘシ

第四十九條 研究生ハ其ノ研究事項ヲ結了シタルトキハ研究報告書ヲ學校長ニ  
差出スヘシ

第五十條 學校長ハ研究報告書ヲ考查シ其ノ成績佳良ナリト認メタルトキハ研  
究證明書ヲ授與ス

## 第九章 選科生

第五十一條 本校所定ノ各學科ノ中一學科目若ハ數學科目ヲ專修センコトヲ願  
出ツルモノアルトキハ詮議ノ上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第五十二條 選科生トシテ入學ヲ許可スル者ハ左ノ各號ニ該當シ且本校ニ於テ  
適當ト認ムル者ニ限ル

- 一、品行方正身體強健ナル者
- 二、年齡滿十七年以上ノ者
- 三、三箇年以上引續キ志望學科目ニ關スル業務ニ從事セル者又ハ實業學校

ノ卒業者

第五十三條 選科生ノ入學時期ハ每學年ノ始メ一箇月以内トス但シ特別ノ場合

ニハ學年ノ半途ニ於テ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第五十四條 選科生ニシテ在學中成績適當ナリト認メタル者ニハ修業證書ヲ授

與ス

第十章 寄宿舍

第五十五條 寄宿舍ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

第一號書式 (用紙美濃)

入學願書

志望學科 第一志望何科 第二志望何科 (第二志望アル場合ニ限ル)

受験希望ノ場所 東京又ハ上田

私儀貴校何科へ入學志願ニ付御許可相成度別紙履歷書、卒業證明書(若ハ專門

學校入學者試験檢定合格證明書)戶籍抄本、入學試験手數料及寫真相添此段相

願候也

年月日

入學志願者

何 某

印

年月日生

現住所

本籍地

族稱戸主 (若ハ戸主トノ續柄)

上田蠶絲専門學校長 何 某 殿

備考 本人氏名ニハ片假名ヲ附スヘシ

第二號書式 (用紙美濃)

履 歷 書

現住所

本籍地

族稱戸主 (若ハ戸主トノ續柄)

何 某

年月日生

一、學業

何年何月迄何地官公私立何學校ニ於テ若ハ何某ニ就キ何學修業何年何月何地官公私立何學校ニ於テ何々修業證書若ハ卒業證書又ハ品行證明書別紙寫ノ通ヲ受ク其ノ他重要ノ事項

一、職業

何年何月何官職拜命若ハ何業ニ從事ス

何年何月退官廢業若ハ現今何官在職何業從事等

一、賞罰

何年何月何所ニ於テ何々ノ賞罰ヲ受ク等

一、家業

何業

右ノ通相違無之候也

年月日

何 某 印

第三號書式 (用紙美濃)

卒業證明書

族稱

何

某

年月日生

右ハ年月日本校何學年ニ入學年月日全科ヲ卒業シタル者若ハ卒業スヘキ見込ノ者ナルコトヲ證明ス

年月日

何地官公私立何學校長

何

某

印

第四號書式 (用紙美濃)

證明書

族稱

何

某

年月日生

右ハ專門學校入學者檢定規程ニ據リ年月日本校ニ於テ施行シタル試験檢定ニ合格シタル者ナルコトヲ證明ス

上田蠶絲專門學校規則

年 月 日 何地官公私立何學校長 何 某 印

第五號書式 (用紙美濃)

三錢  
紙入

誓 書

私儀今般貴校へ入學許可相成候ニ付テハ校規命令及訓育ノ御趣旨ヲ遵守シ  
專心學業ヲ勉勵可致候仍テ誓書如此候也

現住所

本籍地

族稱戸主 (若ハ戸主トノ續柄)

何 某 印

年月日生

右何某在學中御規則等堅ク相守ラセ候事ハ勿論退學後タリトモ同人在學中  
ニ係ル一切ノ事件ハ拙者ニ於テ引受申候此段保證候也

現住所

本籍地

族稱職業

年月日

保證人

何

某

印

年月日生

上田蠶絲專門學校長 何某 殿

## 第五 上田蠶絲專門學校諸規程

### 一、校務分掌規程

#### 第一章 總則

第一條 校務ハ總ヘテ校長ノ指揮決裁ヲ經ルニ非サレハ之ヲ施行スルコトヲ得  
ス但シ事ノ簡易ニシテ先例アルモノハ主管者ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得  
校長不在ノトキハ首席教授之ヲ代理ス

第二條 分掌セル校務ノ相聯關スルモノハ總ヘテ主管者ノ合議ヲ經ヘシ  
第三條 校務ヲ分チテ教育及事務ノ二トナス



第二章 教 育

第四條 教育ヲ分チテ教授及訓育ノ二トス

第五條 教授ハ各學科目ノ教官之ヲ掌ル

第六條 訓育ハ生徒監之ヲ掌ル

第三章 事 務

第七條 事務ハ庶務課、教務課、學生課、圖書課及會計課ノ五課ヲシテ之ヲ分掌セシム

第八條 庶務課ハ左ノ事務ヲ分擔ス

一、御眞影及勅語謄本ニ關スル事項

二、校内諸儀式ニ關スル事項

三、學校長ノ官印及學校印ノ保管ニ關スル事項

四、官吏及雇員等ノ進退賞罰及身分ニ關スル事項

五、叙位、叙勳ニ關スル事項

六、規則ノ制定公布及命令ノ傳達ニ關スル事項

- 七、 公文書類ノ接受發送審議立案及其ノ整理保管ニ關スル事項
  - 八、 統計報告ニ關スル事項
  - 九、 名簿履歷書出勤簿ニ關スル事項
  - 十、 宿直ニ關スル事項
  - 十一、 會議ニ關スル事項
  - 十二、 校舍校地ノ警備取締ニ關スル事項
  - 十三、 本校内外ノ掃除及除雪等ニ關スル事項
  - 十四、 備人ノ進退賞罰取締ニ關スル事項
  - 十五、 門鑑ニ關スル事項
  - 十六、 他課ノ主管ニ屬セサル一切ノ事項
- 第九條 教務課ハ左ノ事務ヲ分擔ス
- 一、 教室、教具、教材ノ整理保管ニ關スル事項
  - 二、 標本室ニ關スル事項
  - 三、 教授會ニ關スル事項

- 四、學生募集ニ關スル事項
  - 五、授業及學科ニ關スル事項
  - 六、學生ノ入學、退學、休學、其ノ他學籍ニ關スル事項
  - 七、特待生及學生總代ニ關スル事項
  - 八、試驗ニ關スル事項
  - 九、修學旅行及參觀ニ關スル事項
  - 十、教務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
  - 十一、教務課ニ屬スル公文書類ノ立案及其ノ整理保管ニ關スル事項
  - 十二、其ノ他教務ニ關スル一切ノ事項
- 第十條 學生課ハ左ノ事務ヲ分擔ス
- 一、學生ノ訓育及賞罰ニ關スル事項
  - 二、學生ノ風儀取締ニ關スル事項
  - 三、學生ノ集會及印刷物ニ關スル事項
  - 四、學生ノ衛生及體格検査ニ關スル事項

- 五、學生ノ入退舍、外泊、入院、歸省及旅行ニ關スル事項
  - 六、寄宿舎ノ取締及管理ニ關スル事項
  - 七、寄宿舎ノ炊事及出入商人ニ關スル事項
  - 八、非常事變ニ關スル事項
  - 九、學生課ニ屬スル物品ノ整理及保管ニ關スル事項
  - 十、學生課ニ屬スル公文書類ノ立案及其ノ整理保管ニ關スル事項
  - 十一、其ノ他學生取締ニ關スル一切ノ事項
- 第十一條 圖書課ハ左ノ事務ヲ分擔ス
- 一、圖書ノ出納及保管ニ關スル事項
  - 二、圖書ノ貸出ニ關スル事項
  - 三、書庫及閱覽室整理ニ關スル事項
  - 四、圖書課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
  - 五、圖書課ニ屬スル公文書類ノ立案及其ノ整理保管ニ關スル事項
  - 六、其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

第十二條 會計課ハ左ノ事務ヲ分擔ス

- 一、歲入歲出ノ豫算及決算ニ關スル事項
- 二、物品ノ出納及保管ニ關スル事項
- 三、金錢ノ出納及保管ニ關スル事項
- 四、官有財産及資金ノ監理ニ關スル事項
- 五、校舍及校地ノ營繕ニ關スル事項
- 六、不用物品ノ處分ニ關スル事項
- 七、會計課ニ屬スル公文書類ノ立案及其ノ物品ノ整理保管ニ關スル事項
- 八、其ノ他會計ニ關スル一切ノ事項

第十三條 教務課、學生課及圖書課ハ教授中ヨリ特選セル各課長ヲシテ之ヲ管理セシム

第十四條 庶務課及會計課ハ書記中ヨリ特選セル各課長ヲシテ之ヲ管理セシム

第十五條 課員ハ課長ノ指揮ニ從ヒ該課ノ事務ニ從事ス

二、職員服務規程

第一條 新任者ハ着任ノ日ヨリ七日以内ニ履歷書及宿所届ヲ庶務課ニ印鑑届ヲ庶務課及會計課ニ差出スヘシ

第二條 職員住所ヲ移轉シ姓名印章ヲ變更セルトキハ其ノ都度届出ツヘシ

第三條 職員登校スルトキハ必ス先ツ出勤簿ニ捺印スヘシ

但シ教授及教授待遇ノ講師ハ此限ニ在ラス

第四條 職員出勤時限ニ遅刻スルカ又ハ執務時間中ニ退出セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シテ學校長ニ届出ツヘシ

第五條 職員病氣其ノ他ノ事故ニ依リ缺勤セントスルトキハ出勤時限前ニ其ノ

旨届出ツヘシ但シ病氣缺勤七日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ

第六條 職員喪ニ當リタルトキハ死者トノ關係及服忌ノ日數トヲ記シタル届書

ヲ學校長ニ差出スヘシ

第七條 職員病氣其ノ他ノ事故ニ依リ任地ヲ離レントスルトキハ學校長ノ許可

ヲ受クヘシ但賜暇中ハ旅行日數及場所ヲ記シ届出ツヘシ

第八條 職員出張ヲ命セラレタルトキハ出發歸任共ニ學校長ニ届出ツヘシ

復命書ハ歸任後十日以内ニ學校長ニ差出スヘシ但シ場合ニ依リ口頭ヲ以テ復命書ニ代フルコトヲ得

第九條 職員官廳其ノ他ヨリ本校ヲ經由セスシテ直ニ辭令書ヲ受ケタル時其ノ事故ノ履歷上ニ關係アルモノハ其ノ都度學校長ニ届出ツヘシ

### 三、校醫服務規程

第一條 校醫ハ左ノ事務ヲ掌ル

一、學生ノ疾病治療ニ關スル事項

二、學生ノ身體檢査ニ關スル事項

三、其他學校衛生ニ關スル事項

第二條 校醫ハ休業日ヲ除ク外隔日服務スヘシ但急患者アルトキハ何時ニテモ出校シテ治療ヲ爲スヘシ

第三條 病氣其ノ他ノ事故アリテ出校シ難キトキハ相當ノ代人ヲ出校セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ氏名ヲ届出ツヘシ

第四條 衛生上ノ施設ニ關シテハ學生課長ト協議スヘシ

第五條 校醫ハ毎月一回學校ヲ視察シ視察後一週間内ニ視察簿ヲ學生課ニ差出スヘシ

第六條 校醫ハ學生病類月表及同年表ヲ調製シ月表ハ翌月五日年表ハ翌年度四月十五日迄ニ學生課ニ差出スヘシ

#### 四、宿直規程

第一條 書記及事務雇員ハ交代ヲ以テ毎日一名宛本校ニ宿直勤務スヘシ

宿直勤務ノ順番ハ庶務課長之ヲ定メ學校長ノ認可ヲ受クヘシ

第二條 宿直時間ハ出勤時限ヨリ翌日ノ退出時限マテトス但シ休業日ニ於テハ

出勤時限ヨリ翌日ノ出勤時限マテトス

宿直者ハ事務引繼ノ後ニ非レハ勤務時限後ト雖モ學校ヲ離ルルコトヲ得ス

第三條 宿直者ハ左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ除番ス

一、出張中及出張ノ前後兩日



二、三日以上ノ欲勤中

三、賜暇又ハ忌引中

第四條 宿直者ニシテ宿直シ能ハサルトキハ協議ノ上他人ヲ代勤セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ其旨宿直日誌ニ記載スヘシ

第五條 新任者ハ出勤日ヨリ起算シ一週間ヲ經テ宿直順番ニ加入セシム

第六條 宿直者ハ宿直日誌ニ左ノ事項ヲ記載シ學校長ノ檢閲ヲ受クヘシ

一、宿直ノ年月日及宿直者ノ氏名

二、宿直ノ巡視及小使ノ氏名

三、接受發送シタル物件

四、其ノ他宿直中處理シタル事項

第七條 宿直中接受シタル電信、親展公文書及速達ヲ要スト認ムヘキ職員宛ノ私文書ハ直チニ宛名ノ者ニ送付シ其ノ他ノ文書ハ翌日宿直日誌ト共ニ次番者若クハ庶務課員ニ引繼クヘシ

第八條 宿直者ハ校舍各室ノ鎖鑰ヲ監守シ火元戸締ニ注意シ夜中ハ巡視若クハ小使ヲ率ヒ二回以上校舍ノ内外ヲ巡視スヘシ

第九條 宿直中近火其ノ他非常ノ異變起ルトキハ學校長ニ急報シ且臨機ノ處置ヲ爲スヘシ

## 五、物品會計規定細則

第一條 共用備品及消耗品ハ學校長ノ任命セル若干名ノ監守者若シクハ取扱主任ヲシテ之ヲ處理セシム

第二條 物品ノ出納ハ學校長ノ檢印アル所定ノ傳票ニ依テ之ヲ行フ

第三條 通常所要ノ物品ハ會計課ニ於テ一ケ年ノ所要高ヲ豫定シ學校長ノ許可ヲ受ケ一回若クハ數回ニ取纏メテ之ヲ購入シ各部ノ請求ニ應シ交附ノ手續キヲ爲スヘシ

第四條 臨時所要ノ物品ハ各部主任ノ請求ニ依リ學校長ノ許可ヲ受ケテ其ノ都度購入ノ手續ヲ爲シ之ヲ當該監守者又ハ取扱主任ニ交附ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 生産保管轉換又ハ寄贈ニ係ル物品ハ會計課ニ於テ其ノ品名數量及見積

價格ヲ付シ物品會計官吏ヲシテ受入命令ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第六條 總テ受入タル物品ハ備品ニアリテハ會計課ニ於テ校名番號ヲ附スヘシ

但票札ノ附シ得サルモノハ適當ノ方法ニヨリテ之ヲ整理スヘシ

第七條 本校各部ニ於テ物品ノ支給ヲ要スル時ハ所定ノ請求書ニ品名數量需要

事由等ヲ記載シ捺印ノ上之ヲ會計課ニ差出スヘシ

第八條 本校各部ニ於ケル實驗生産品ハ當該取扱主任ニ於テ生産品授受簿ニ其

ノ品名數量評定價格及引繼年月日ヲ記載シ之ヲ會計課ニ引繼クヘシ

第九條 監守者又ハ取扱主任物品ノ支給ヲ受ケタル時ハ現品ト照合シテ所定ノ

傳票ニ捺印シ遲滯ナク之ヲ物品會計官吏ニ返付スヘシ共用備品及消耗品ニ

アリテハ之ヲ帳簿ニ記載シ且共用備品ニアリテハ成ルヘク其ノ備付ノ場所

ヲ摘記スヘシ

第十條 監守備品ノ票札汚損若クハ滅失シタルトキハ監守者ハ直チニ之ヲ會計

課ニ通知スヘシ

第十一條 監守備品ニシテ自然ニ毀損シタル時ハ監守者ハ直チニ其修理若クハ引換ヲ會計課ニ請求スヘシ前項物品ノ修理終リタル時ハ會計課ハ直チニ當該物品ヲ監守者ニ返付スヘシ

第十二條 監守備品滅失シタル時ハ監守者ハ其ノ品名數量番號等ヲ取調ヘ始末書ヲ附シ物品會計官吏ヲ經由シテ學校長ニ届出ツヘシ

第十三條 監守備品不用ニ歸シタル時ハ監守者ハ之ヲ會計課ニ返付スヘシ

第十四條 不用物品若クハ毀損物品ニシテ使用ニ堪ヘサルモノアル時ハ會計課ハ處分案ヲ附シテ學校長ノ裁定ヲ請フヘシ

第十五條 監守者交代シタル時ハ新舊監守者立會ノ上帳簿ト現品トヲ照合シ引繼ヲ爲シタル年月日ヲ帳簿ニ記載シ署名捺印スヘシ前項ノ手續ヲ終リタルトキハ新舊監守者連名ニテ物品會計官吏ヲ經由シテ其ノ旨學校長ニ届出ツヘシ

第十六條 使用中ノ物品ハ物品會計官吏左ノ各項ニ依リテ之ヲ檢査スヘシ

一、備品ハ毎年一回支給簿ト監守簿トヲ對照シ更ニ監守簿ト現品トヲ照合

スヘシ

二、消耗品ハ各學期毎ニ一回消耗品受拂簿ヲ調査シ現品ト照合スヘシ  
前二項檢査中物品ノ滅失毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ處理ニ付キ意見

アルトキハ物品會計官吏ハ其ノ旨學校長ニ具申スヘシ

第十七條 物品檢閱ヲ分チテ定期及臨時ノ二種トス

定期檢閱ハ毎年二月之ヲ行ヒ臨時檢閱ハ必要ト認メタル場合ニ之ヲ行フ

第十八條 物品檢閱委員ハ委員長一名委員若干名トシ檢閱ノ都度學校長之ヲ任

命ス

第十九條 物品檢閱委員ノ檢閱スヘキ事項左ノ如シ

一、物品保管ノ適否

二、物品出納ノ適否

三、備品使用ノ適否

四、消耗品消費ノ適否

五、物品斂損ノ有無

第二十條 物品檢閲委員檢閲ヲ終リタル時ハ十日以内ニ檢閲顛末ヲ具シ意見ヲ付シテ學校長ニ上申スヘシ

第二十一條 物品會計官吏ハ物品ノ出納ヲ明ニスル爲左ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一、圖書出納簿

本簿ニハ圖書名冊數價格納人等ヲ登記シテ出納ヲ明ニスヘシ

二、備品出納簿

本簿ニハ圖書機械標本以外ノ備品ノ品名數量價格納人等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

三、機械標本出納簿

本簿ニハ機械標本ヲ學科毎ニ口座ヲ設ケ品名數量價格納人等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

四、生産品出納簿

本簿ニハ實習生産品ノ品名數量價格等ヲ登記シテ出納ヲ明ニスヘシ

五、消耗品出納簿

本簿ニハ消耗品ノ品名數量價格納人等ヲ登記シテ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

六、器具機械標本並圖書支給簿

本簿ニハ各部科ノ監守又ハ專用ニ屬スル物品ヲ記入シ以テ支給備品ノ所在ヲ明ニス

第二十二條 監守者又ハ物品取扱主任ニ於テハ各部物品ノ出納監守及取扱ヲ明

確ニスル爲左ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一、器具機械標本監守簿

本簿ニハ監守物品ノ品名數量番號及所在等ヲ明記スヘシ

二、圖書監守簿

本簿ニハ部門毎ニ口座ヲ設ケテ圖書名冊數價格等ヲ明記スヘシ

三、消耗品受拂簿

本簿ニハ消耗品(實驗用材料及生產品ヲ含ム)ノ品名數量受拂ノ年月日等ヲ

明記スヘシ

#### 四、郵便切手類受拂簿

本簿ニハ庶務課ニ限リ之ヲ備ヘ郵便切手ノ受拂ヲ明記スヘシ

### 六、成績考查規程

第一條 學業ノ成績ハ學期成績、學年成績及卒業成績ニ區別シテ之ヲ考查ス

第二條 各學科目及實習實驗科目ノ學期成績ハ平素ノ成績及試験成績ニ依リテ之ヲ定ム

第三條 修身、數學、測量、圖畫、外國語、體操及實習實驗科目ハ受持教官ノ見込ニ依リ試験ヲ省畧スルコトヲ得其ノ他ノ學科目ト雖モ最終學期ヲ除クノ外試験ヲ省畧スルコトヲ得

試験ヲ省畧セルトキハ平素ノ成績ヲ以テ學期成績トス

第四條 試験ハ各學期末ノ指定日ニ於テ之ヲ施行ス

但必要ノ場合ニ於テハ學期中途ニ於テ之ヲ施行スルコトアルヘシ

第五條 學期試験ハ該學期中ニ修了シタル課程ニ付之ヲ行フ但最終學期ノ試験



ハ該學年中ニ修了シタル課程ノ全部ニ亘リテ之ヲ行フ

第六條 各科目ノ學年成績ハ左ノ如クニシテ之ヲ定ム

一、二學期以上ニ亘ラサル科目ハ學期成績ヲ以テ學年成績トス

二、二學期以上ニ亘レル科目ハ學期成績ノ和ヲ學期數ヲ以テ除シタルモノ

ヲ以テ學年成績トス但試験ヲ施行セル科目ハ最終學期成績ヲ二其ノ他

ノ學期成績ヲ一ニ評價シテ之ヲ定ム

受持敎官ハ講義時間ノ多少若クハ實習實驗ノ繁閑ニ依リ前項第二號ノ割合

ヲ斟酌スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ特ニ校長ノ決裁ヲ經ヘキモノトス

第七條 實習實驗科目ノ平均點ハ養蠶科ニ在リテハ蠶兒飼育ヲ三、圃場實習ヲ二、

製絲科ニ在リテハ製絲ヲ三、殺蛹乾繭貯繭ヲ二ニ評價シ其ノ他ノ學科目ヲ一

ニ評價シテ之ヲ定ム

第八條 學年總平均點ハ學科目ノ學年成績ノ平均點ニ實習實驗科目ノ平均點ヲ

加ヘ之ヲ二分シタルモノトス

第九條 卒業成績ハ三學年ノ總平均點ヲ加ヘ之ヲ三分シタルモノトス

第十條 成績ハ點數ヲ以テ表示シ各科目ノ最高點ヲ一百點トス

第十一條 各科目ノ平均點ノ計算ハ一點未滿ヲ四捨五入ス

第十二條 學科目ノ平均點實習實驗科目平均點學年總平均點及卒業成績ハ小數分位ニ止メ厘位ヲ四捨五入ス

第十三條 左ノ各號ニ該當スルモノヲ以テ各學年ノ課程ヲ修了シタルモノトス

一、學年成績總平均點六十點以上ナルコト

二、科目學年成績各五十點以上ナルコト

三、學年成績六十點未滿ノ科目數科目總數ノ半數以上ニ上ラサルコト

第十四條 學業成績前條ニ合格セサル者ト雖モ左記各號ノ一ニ該當スル者ハ敎

官會議ヲ經テ其ノ學業成績ヲ審案シ特ニ該學年ノ課程ヲ修了シタル者ト認

ムヘシ

一、前條第一號及第二號ノ資格ヲ具備セル者

二、前條第一號及第三號ノ資格ヲ具備シ五十點未滿四十點以上ノ科目二科

目以內ナル者

## 七、學生心得

第一條 本校學生ハ教育勅語及戊申詔書ノ趣旨ヲ奉體シ以テ立身報國ノ基礎ヲ確立スヘシ

第二條 本校學生ハ左記ノ綱領ヲ遵守スヘシ

一、 本校ノ規則命令ヲ遵守シ師長ノ指揮訓戒ニ恭順スヘシ

二、 信義ヲ重シ廉恥ヲ尙ヒ質素勤勉ヲ旨トシ以テ謹格自重ノ風ヲ持スヘシ

三、 職員ニ對シテ敬禮ヲ行フヘキハ勿論相互ノ間ニ於テモ亦禮讓ヲ厚クスヘシ

四、 攝生ニ注意シ身體ノ強健ヲ圖リ以テ快活ノ精神ト進取ノ氣象トヲ養フヘシ

五、 志操ヲ固クシ言行ヲ慎ミ苟クモ本校ノ學生タルノ體面ヲ汚スノ行爲アルヘカラス

### 第三條

本校學生ハ左記ノ各號ヲ遵守スヘシ

- 一、 揭示ハ之ヲ掲ケシ日ヨリ一般ニ了知セルモノト認ムルニ依リ能ク注意スヘシ
- 二、 始業時限ニハ遲滞ナク教室ニ入りテ所定ノ席ニ着キ授業終ルトキハ教官退席後靜ニ退出スヘシ
- 三、 授業ノ始ニハ教官教壇ニ昇リ机ニ向ヒシトキ授業ノ終ニハ教官ヨリ授業ノ終ルノ旨ヲ告ケシトキ一同教官ニ對シ立禮スヘシ
- 四、 授業中參觀人ニ對シ敬禮ノ爲教官教壇ヲ降リタルトキハ一同直ニ立禮スヘシ
- 五、 授業時間中ハ教官ノ許可ナクシテ教室ヲ出入スルコトヲ得ス
- 六、 校舎内ニアリテハ授業中ハ勿論放課後ト雖モ靜肅ヲ旨トシ喧噪ノ行爲アルヘカラス
- 七、 帽子外套其ノ他ノ携帶品ハ必ス所定ノ場所ニ整置シ教室内ニ携帶スヘカラス

病氣其ノ他ノ事故ノ爲着用ノ必要アルトキハ各教官ノ許可ヲ受クヘシ

八、校内ニ在リテハ所定ノ場所以外ニ於テ飲食喫煙スヘカラス

九、團體ヲ組織セント欲セハ必ス生徒監ノ認可ヲ受クヘシ

十、集會ニ於テハ左ノ各項ニ從フヘシ

イ、校舎ノ内外ヲ問ハス集會セントスルトキハ豫メ學生課ニ届出ツヘシ

ロ、集會ノ爲メ校舎校具ヲ借用セントスルトキハ豫メ學生課ノ許可ヲ受

クヘシ

十一、學生課ノ許可ヲ得ルニ非サレハ校舎内ニ掲示張札ヲ爲スコトヲ得ス

十二、各學期ノ始メ各級學生ハ正副二名ノ總代ヲ選舉シ教務課ニ届出ツヘ

シ

十三、本校ノ物品ハ當該物品監守者ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ使用帶出

スルコトヲ得ス

十四、本校ノ物品ハ專ラ鄭重ニ之ヲ取扱フヘシ若シ過チテ毀損若クハ紛失

シタルトキハ直ニ届出テ指揮ヲ受クヘシ

## 八、總代規程

第一條 各科各級ニ總代及副總代各一名ヲ置ク

第二條 總代ハ各級學生ヲ代表シ學校ト學生及各級學生間ノ關係ノ圓滑ヲ圖リ

兼テ級風ノ振作ニ勉ムヘシ

第三條 副總代ハ總代ヲ補佐シ總代故障アルトキハ之ヲ代理ス

第四條 各級學生ハ各學期ノ始三日以内ニ總代及副總代ノ候補者三名ヲ互選シ

遲滯ナク教務課ニ申告スヘシ

第五條 總代及副總代ハ各級學生ノ互選セル三名ノ候補者中ニ就キ學校校長之ヲ

任命ス

第六條 總代及副總代ノ任期ハ一學期間トス

## 九、學生制服規程

第一條 學生ノ制服ハ左ノ如シ

一、正帽 地質 黑絨

徽章 眞鍮製、形狀圖ノ如シ

縁 黑綾織

眼底 黑革

頤紐 黑革幅三分五厘、釦經三分三厘、形狀服釦ニ同シ

製式 圖ノ如シ

一、略帽 地質 麥藁

徽章 正帽ノ徽章ニ同シ

帶巾 黑無地

製式 普通編方平編

一、正服衣 地質 黑ヘル

釦 眞鍮製、胸釦七分五個、袖釦五分二個、形狀圖ノ如シ

襟章 眞鍮製、左襟ニ養蠶科生ハ桑葉、製絲科生ハ右襟ニ絲卷

ノ章ヲ附ス

製式 立襟ハ脊廣形圖ノ如シ

袴 地質 黒ヘル

製式 圖ノ如シ

一、 冪服 地質 霜降セル

其ノ他正服ニ同シ

一、 外套 地質 黒メルトン

釦 一列隠釦

製式 折襟圖ノ如シ

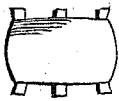
一、 靴 黒革製

脚絆 白麻製

襟章

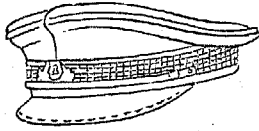


養蠶科



製絲科

帽子



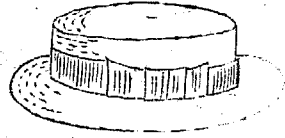
上田蠶絲專門學校諸規程



章 徽

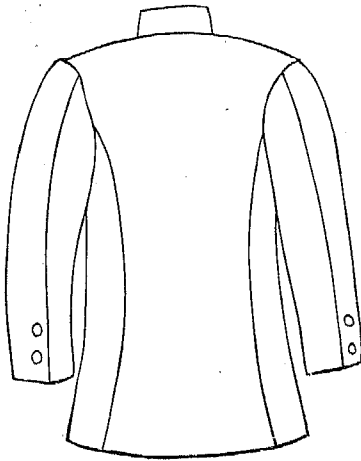


帽 略

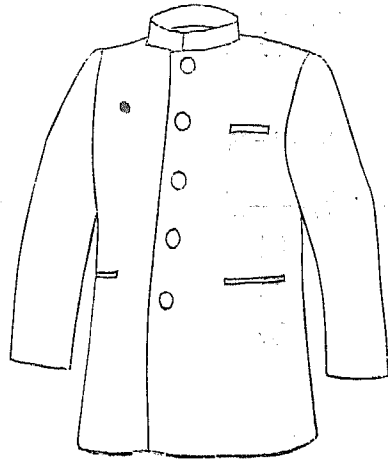


上田蠶絲專門學校一覽

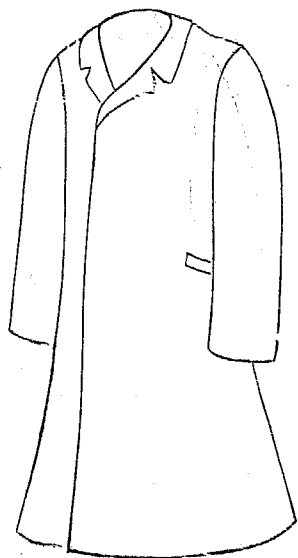
背  
面



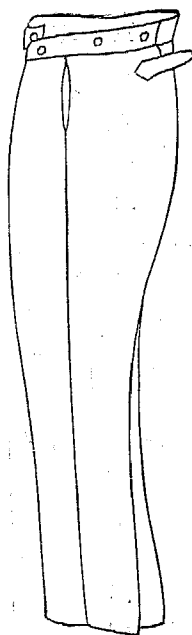
衣  
前  
面



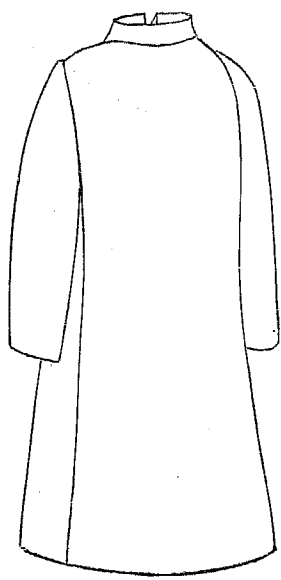
外套ノ前面



袴

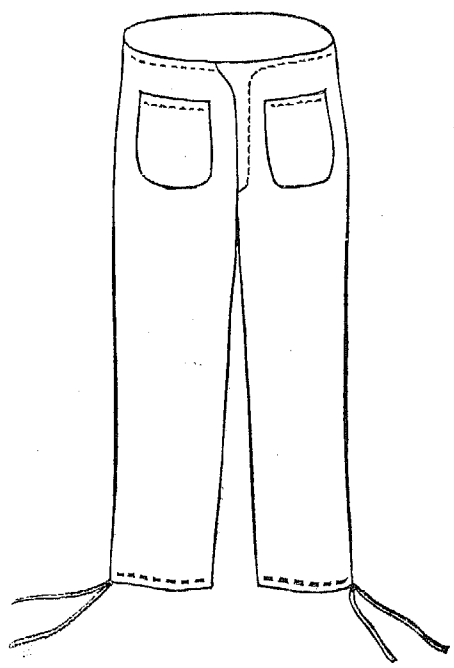


外套ノ背面

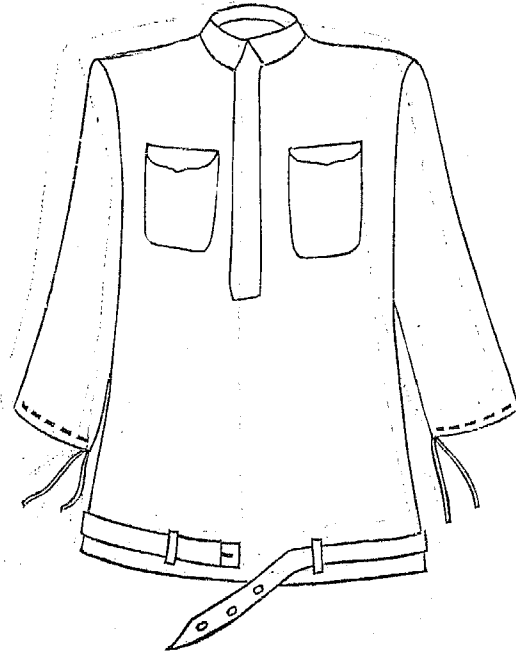


養蠶科

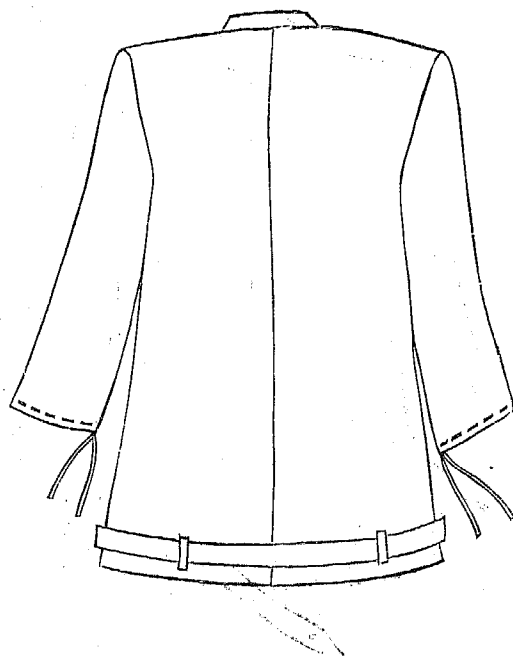
實習服前面



同

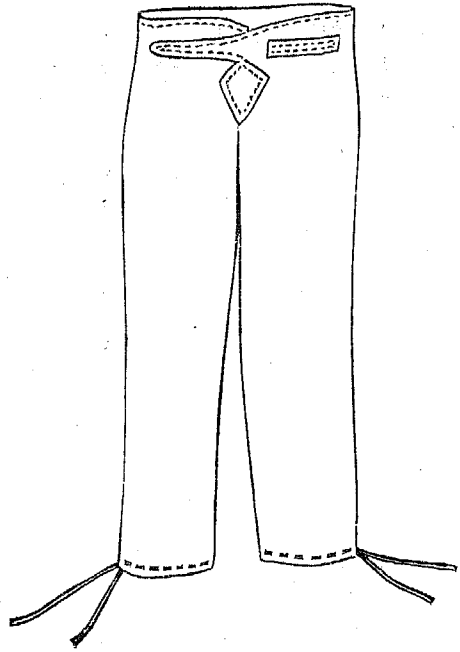
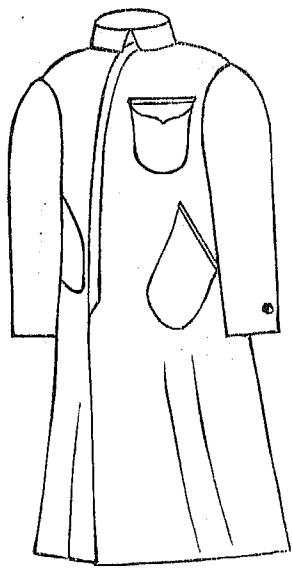


實習服後面



製 絲 科  
實 習 服

同



第二條 學生ハ左ノ場合ニ於テハ制服ヲ着用スヘシ

一、本校ニ出入スルトキ但寄宿生ハ舍内ニ在ルトキハ此ノ限リニアラス

二、本校學生タルコトヲ表示スルトキ

三、特ニ本校ヨリ指定スルトキ

第三條 學生ハ六月一日ヨリ九月三十日マテハ特ニ指定シタル場合ノ外略服ヲ

着用スヘシ

第四條 學生ハ前條ノ期間内ニ限リ略服ヲ着用スルコトヲ得但體操、儀式其ノ他

特別ノ指定アルトキハ此ノ限リニアラス

第五條 學生ハ實習ノ場合ニ於テハ左ノ如キ實習服ヲ着用スヘシ

一、衣 養蠶科 地質 霜降小倉

製式 圖ノ如シ

袴 同 地質 衣ニ同シ

製式 圖ノ如シ

一、衣 製絲科 地質 白カツラギ

製式 圖ノ如シ 袴ナシ

第六條 學生外出スルトキハ制帽制服又ハ制帽及袴ヲ着用スヘシ

第七條 新入學生ハ五月一日マテニ制服ヲ調製着用スヘシ

第八條 研究生及選科生ノ服裝ハ別ニ之ヲ定メス但學生タルノ禮ヲ失ハサルコ

トヲ要ス

選科生ニシテ正服又ハ略服ヲ着用スルトキハ襟章ヲ省略スヘシ

## 十、寄宿舎細則

### 第一章 總 則

第一條 寄宿舎ハ常習ノ基礎ヲ養成スヘキ所ナルヲ以テ寄宿生ハ常ニ實踐躬行

ヲ旨トシ心身ノ修養ニ務ムヘシ

第二條 寄宿生ハ常ニ生徒監ノ指揮教訓ニ從ヒ勤儉ヲ旨トシ禮儀公德規律衛生

ヲ重スヘシ

第三條 寄宿舎ハ毎年一月二十日ニ開キ十二月二十二日ニ閉ツ



第四條 寄宿生ノ諸願書等ハ總ヘテ校長宛ニ認メ生徒監ノ捺印ヲ受ケテ關係課

ニ差出スヘシ

第五條 寄宿舎ニハ左ノ帳簿ヲ備フルモノトス

一、寄宿舎日誌 二、寄宿生名簿

三、炊事決算表 四、備品臺帳

第二章 入舎及退舎

第六條 入舎セント欲スルモノハ左ノ書式ニ依リ願書ヲ差出スヘシ

入舎願

私儀今般御校寄宿舎へ入舎致度候ニ付御許可相成度保證人連署ヲ以テ此段  
相願候也

年月日

何科何年生 氏名 印

保證人 氏名 印

學校長宛

第七條 己ムヲ得サル事情ノ爲退舎セント欲スルモノハ其ノ理由ヲ詳記シ保證

人連署ヲ以テ願出ツヘシ

但病氣ニ依ルモノハ學校醫ノ診斷書ヲ添フヘシ

己ムヲ得サル事情ニ依リ學校醫ノ診斷書ヲ添付シ得サルモノハ他ノ醫師ノ診斷書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第八條 寄宿舎ノ都合上必要アルトキハ退舎セシムルコトアルヘシ

### 第三章 起臥及洒掃

第九條 起床就床ノ時間ハ季節ニ應シ時々之ヲ定ム

第十條 病氣其ノ他特別ノ事情ニ依リ規定時間外ニ就床若クハ自修セント欲スルモノハ其ノ旨生徒監ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第十一條 毎朝起床ヨリ朝食マテノ間及夕食後一時間内ニ於テ各自室内及所定ノ場所ノ掃除整理ヲ爲スヘシ

第十二條 毎週一回室内ノ大掃除ヲ爲シ生徒監ノ検査ヲ受クヘシ

第十三條 毎日當番ヲ定メ順次兩便所ノ掃除ヲ爲シ生徒監ノ検査ヲ受クヘシ

第十四條 衣服敷布襯衣等ハ時々洗濯シテ清潔ヲ保ツヘシ洗濯ハ可成自ラ勞ニ

任シ所定ノ場所ニ於テスヘシ

第十五條 寢具ハ時々所定ノ場所ニ於テ日光ニ曝スヘシ

第十六條 毎月一回輪番ニテ舍外ノ大掃除ヲ行フヘシ

#### 第四章 自修及點檢

第十七條 自修時間ハ季節ニ依リテ變更スルコトアルモ起床ヨリ始業時間マテ

及門限ヨリ就床時間マテノ間ニ於テ時間ヲ定メ之ヲ行フモノトス

第十八條 自修時間中ハ靜肅ニ勉學シ猥リニ自席ヲ離レ音讀又ハ談話ヲ爲スヘ

カラス

第十九條 人員檢査ハ朝夕及臨時ニ之ヲ行フモノトス

#### 第五章 外出及歸省

第二十條 外出時間ハ毎日放課後ヨリ門限マテトシ休業日ハ起床ヨリ門限マテ

トス

第二十一條 外出ノ際ハ制帽制服若クハ和服ニ制帽及袴ヲ着用スヘシ

第二十二條 外出及歸舍ノ際ハ所定ノ名札ヲ翻シテ之ヲ表スヘシ

第二十三條 己ムヲ得サル事情アリテ外出又ハ外泊セント欲スルモノハ豫メ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

第二十四條 外泊シタルモノハ外泊先ノ證明書ヲ差出スヘシ

第二十五條 前二十三條ノ手續ヲ經ルノ遑ナクシテ外泊シタルモノハ外泊先ノ證明書ニ始末書ヲ添ヘ保證人ノ檢印ヲ得テ差出スヘシ

#### 第六章 疾病及歛席

第二十六條 病氣ノ兆候アルトキハ直ニ室長ニ申出テ生徒監ノ指揮ヲ請フヘシ

第二十七條 病氣ニ罹リタルトキハ學校醫ノ診斷ニ依リテ舍内ノ病室若クハ病院ニ入ラシメ又ハ父兄若クハ保證人ニ通知シテ引取ラシム

#### 第七章 學費

第二十八條 寄宿生ハ宿舍料トシテ一ケ月金七十錢ヲ所定ノ日ニ納付スヘシ但十五日以前ニ退舍シ若クハ十六日以後ニ入舍シタルモノハ半額トシ四月及九月ハ半額ヲ徵收ス又既納ノ宿舍料ハ如何ナル事情アルモ之ヲ還附セス

第二十九條 寄宿生ハ毎月學資金出納計算表ヲ作り生徒監ニ差出スヘシ

第三十條 寄宿生ハ金錢ノ貸借ヲ爲スヘカラス但己ムヲ得サル場合ハ其ノ事由ヲ生徒監ニ申出ツヘシ

第八章 編成及役員

第三十一條 寄宿舎ヲ二部ニ分チ各部ニ總代副總代各室ニ室長副室長ヲ置ク  
第三十二條 各役員ハ學生ノ互選ニ依リ生徒監之ヲ選任ス其ノ任期ハ一學期間トス

第三十三條 各室ノ人員ハ學期ノ初ニ於テ組換ヲ爲スモノトス

第三十四條 總代ハ生徒監ノ旨ヲ受ケ舍内ノ整理及風儀ノ振肅ニ當リ且ツ舍内ニ命令達示ノ傳達及其ノ寮ノ代表ヲ爲スモノトシ室長ハ其ノ室ヲ代表スルモノトス

第三十五條 總代及室長不在又ハ病氣ノ時ハ副總代及副室長ヲシテ代理セシム

第九章 炊事及食事

第三十六條 炊事ハ自炊ノ方法ニ依ルモノトス

第三十七條 各寮ヨリ炊事委員各三名ヲ互選ス其ノ任期ハ一ヶ月間トス

第三十八條 炊事委員ハ學生監督ノ下ニ炊夫ヲ指揮シテ庖厨管理ノ任ニ當ルモ

ノトス

第三十九條 炊事委員ハ次週分ノ献立豫定表ヲ作り前週金曜日マテニ生徒監ニ

差出シ許可ヲ受クルモノトス

第四十條 炊事委員ハ炊事ニ關スル一切ノ諸帳簿ヲ記入ヲ明カニシ毎月末日ニ

於テ其ノ月ノ實費總額ヲ計算シ炊事決算表ヲ作り生徒監ノ檢印ヲ得テ寄宿

生ニ報告スルモノトス

第四十一條 食費ハ總ヘテ日割ニテ計算シ缺食連續二日以上ニアラサレハ食費

ヲ控除セス但缺食セントスルトキハ豫メ炊事委員ニ届出ツヘシ

第四十二條 飲食ハ生徒監ノ許可ヲ得タル時ノ外食堂外ニ於テ爲スヘカラス

第四十三條 食物不良ノモノアリト認メタルトキハ之ヲ炊事委員ニ通告スヘシ

直ニ炊夫ヲ詰問スヘカラス

第四十四條 炊夫傭入解傭給料等ニ關シテハ生徒監ハ炊事委員ト協議スルモノ

トス

第十章 雜 則

第四十五條 教科書及之ニ關スル參考書外ノ書籍雜誌等ハ豫メ生徒監ノ許可ヲ得テ閱讀スヘシ

第四十六條 寄宿生ハ學科ノ餘暇ニ於テ可成舍園ノ耕耘、飼畜等ニ從事シ實業ノ趣味多キヲ知リ且ツ經濟ノ思想ヲ養フヘシ

第四十七條 寄宿生ハ一學期一回本校職員ヲ請シテ茶話會ヲ開キ師弟團樂ノ間ニ思想ヲ交換シ親睦ヲ圖ルモノトス

第四十八條 寄宿生ハ左ノ件々ニ注意スヘシ

- 一、 猥リニ炊事場ニ立入り或ハ許可ナク炊夫ヲ使役スヘカラス
- 一、 職員ノ案内セル參觀者ニハ職員ト同一ノ敬意ヲ表スヘシ
- 一、 起臥喫飯沐浴外出門限等ノ時間ハ嚴ニ之ヲ守ルヘシ
- 一、 來訪者アルトキハ生徒監ノ許可ヲ得テ應接室ニ於テ面會スヘシ
- 一、 寄宿舎ニ於テ飲酒ヲ爲スコトヲ得ス
- 一、 火ノ元ニ關シテハ各自相誡メ火鉢以外ニ煙草ノ吸殻ヲ棄ツヘカラス室

ヲ離ル、トキ若クハ就床ノトキハ特ニ注意スヘシ  
一、寄宿舎備付ノ器物ヲ毀損若クハ紛失シタルモノハ其ノ旨届出ツヘシ  
但場合ニ依リテハ之ヲ辨償セシム  
第四十九條 入舎ノ際ニハ指定以外ノ物品ヲ携帯スベカラズ

## 十一、通學規程

第一條 通學生ハ宿所選定ノ日ヨリ五日以内ニ本校所定ノ用紙ニ認メタル宿所  
届ヲ學生課ニ差出スヘシ宿所變更ノ場合モ亦同シ

第二條 通學生ハ本校所定ノ標札ニ姓名ヲ記載シテ宿所ノ門戸ニ掲クヘシ

第三條 通學生ハ本校職員又ハ本校學生一名以上ト同宿スヘシ但父兄其ノ他ノ

尊屬ノ宿所ヨリ通學スル者又止ムヲ得サル事情アル者ハ此ノ限りニアラス

第四條 通學生ノ宿所ニシテ不適當ナリト認ムルトキハ日ヲ限リテ之ヲ變更セ

シム

第五條 宿所届用紙又ハ標札ハ學生課ヨリ交附ス





札 標

分五寸一

五  
寸

## 十二、 授業料規程

第一條 授業料ハ左ノ期間内ニ之ヲ徴收ス

第一期授業料 四月十八日ヨリ同月二十一日マテ

第二期授業料 九月一日ヨリ同四月マテ

第三期授業料 一月二十一日ヨリ同二十四日マテ

第二條 本校規則第四十三條第一號第二號及第三號ノ一ニ該當スルモノハ事項  
發生ノ日ヨリ七日以内ニ該期ノ授業料ヲ納付スヘシ

第三條 退學又ハ放校ノ處分ヲ受ケタル者ノ授業料ハ納期ニ拘ラス即時徴收ス  
第四條 授業料ノ怠納三日以上ニ及フ者ハ授業ニ出席スルコトヲ得ス但特別ノ

事情有ル者ハ此ノ限ニ非ラス

第五條 實習實驗費ヲ徵收スルトキハ特ニ其ノ金額及徵收日ヲ告示ス  
實習實驗費ニ關シテハ授業料ノ規定ヲ準用ス

## 十二、巡視規程

第一條 巡視ハ庶務課監督ノ下ニ校舎内外ノ見張及取締ニ從事シ且ツ輪番ニ夜  
警ニ服スヘシ

第二條 巡視中一名ノ巡視長ヲ置キ巡視ノ事務ヲ總ヘシム

第三條 夜警ハ午後九時同十一時午前一時及同三時校舎ノ内外ヲ巡視スヘシ

第四條 正門ハ午前六時ニ開扉シ執務時限後三十分ニ之ヲ閉扉スヘシ但休業日  
ニハ大祭日及本校記念日ヲ除クノ外之ヲ開扉スルコトヲ得ス

第五條 脇門ハ正門閉鎖中之ヲ開扉スヘシ但午後十時ヨリ翌日午前六時マテ之  
ヲ閉鎖スヘシ

第六條 巡視ハ必ス制服制帽ヲ着用シ靴ヲ穿テ容儀ヲ正シクシ外來人ニ接スル

トキハ懇切ヲ旨トシ敢テ傲慢ノ舉動アルヘカラス

第七條 巡視ハ本校職員學生備人及門鑑所有者ノ外乱リニ外來者ヲ校内ニ侵入

セシムヘカラス

第八條 外來者ノ取次ヲ乞フ者アルトキハ先ツ名刺ヲ差出サシメ用向ヲ問ヒ執

務時間中ハ庶務課ニ執務時間後ハ宿直員ニ取次クヘシ

第九條 本校ノ物品ヲ携帶スル者ハ出門許可証ヲ有スル場合ノ外之ヲ出門セシ

ムルコトヲ得ス

第十條 出入者ノ舉動不審ナリト認メタルトキハ直チニ庶務課若クハ宿直員ニ

申告スヘシ

第十一條 巡視ハ勤務中ニ視察若クハ執行シタル事項ヲ詳細ニ日誌ニ記入シ毎

日庶務課若クハ宿直員ニ之ヲ差出シ其ノ捺印ヲ受クヘシ

第十二條 巡視ハ毎月一日勤務ノ分擔及其ノ順番ヲ定メ庶務課ニ届出ツヘシ

第十三條 職員服務規程ハ之ヲ巡視ニ準用ス

## 十四、小使規程

第一條 小使ハ庶務課監督ノ下ニ小使取締ノ指揮ヲ受ケ本校内外ノ雜役ニ服ス

ヘシ

第二條 小使ハ毎日一名宛輪番ニ本校ニ宿泊勤務スヘシ

第三條 小使ハ勤務中必ス制服ヲ着用シ外勤ノ際ハ制帽ヲ頂クヘシ

第四條 小使掃除ノ際遺失物等ヲ拾得シタル時ハ直ニ宿直員ニ差出スヘシ

第五條 小使ハ火ノ取扱ニ注意シ職員退出後ハ直チニ殘火ヲ取除キ火氣全ク去

リタル後叮嚀ニ火器ニ掃除スヘシ

第六條 小使ハ職員ノ許可ヲ得ルニ非サレハ學生其ノ他ノ者ノ委囑ニ應スルコ

トヲ得ス

第七條 小使ハ毎月一日勤務ノ分擔及其ノ順番ヲ定メ庶務課ニ届出スヘシ

第八條 職員服務規程ハ之ヲ小使ニ準用ス

## 十五、非常手配規程

第一條 本校出火若クハ近火等事變ノ際ハ巡視又ハ小使其ノ他之ヲ發見シタル

モノヨリ執務時間内ハ學校長及各課ニ其ノ他ハ當直員ニ急報スヘシ

第二條 課員又ハ當直員ニシテ前條ノ報ニ接シタルトキハ御眞影並ニ勅語ノ奉

安其ノ他應急ニ手配ヲ爲シ且ツ當直員ハ之ヲ學校長及各課員ニ急報スヘシ

御眞影並ニ勅語ノ奉安所ハ小縣蠶業學校若クハ神宮奉齋會上田本部トス

第三條 事變ノ性質多人數ヲ要スト認ムルトキハ巡視又ハ火夫ヲシテ警鐘ヲ三

ツ宛連打セシメ又ハ汽笛ヲ連鳴セシム

第四條 前條ノ警報ニ接シタルトキハ職員學生以下諸備人ハ直チニ本校ニ集合

シ豫定ノ任ニ當ルヘシ但學生ハ必ス正帽ヲ着用スヘシ

第五條 職員學生以下諸備人ノ非常手配ハ毎年四月學生課ニ於テ之ヲ定ム但職

員ノ配置ハ學校長ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 非常手配ヲ警戒掛、防火掛及運搬掛ノ三掛ト爲ス

第七條 警戒掛ハ左ノ事項ヲ掌ル

一、校門ヲ閉鎖シテ無用ノ者ヲ入ラシメサルコト

二、終始校内ヲ巡邏シテ盜難ヲ戒ムルコト

三、 駈付人名ヲ書留ルコト

四、 夜中ニアリテハ表門其ノ他ノ要所ニ高張提灯ヲ點スルコト

第八條 防火掛ハ左ノ事項ヲ掌ル

一、 校内失火ノトキハ備付ノ消火器及唧筒ヲ使用シテ消防ヲ爲スコト

二、 近火ノトキハ唧筒ヲ引キ出シテ延燒ノ豫防ヲナスコト

三、 其ノ他防火ニ必要ナル事項

第九條 運搬掛ハ左ノ事項ヲ掌ル

一、 校舍燒失ノ虞アルトキハ校内ノ圖書機械其ノ他ノ物品ヲ安全ノ場所ニ

運搬スルコト

二、 運搬セル物品ニハ監視者ヲ附シテ嚴重ニ取締ルコト

第十條 非常手配掛員ハ各掛長ノ指揮ニ從ヒ各掛長ハ學校長ノ指揮ニ從フヘシ

但掛長駈付サル間ハ上席者ノ指揮ニ從フヘシ

第十一條 各學期ニ三回學生ヲシテ唧筒及消火器使用ノ練習ヲ爲サシム但第三

條ノ警報ヲ爲シテ臨時之ヲ練習セシムルコトアルヘシ

第十二條 防火用具ハ學生課長ヲシテ之ヲ保管セシム

學生課長ハ時々防火用具ヲ點檢シ時機ニ應シテ使用シ得ル様整頓シ置クヘシ

## 第六 職員

(大正二年四月一日調)

校長

從五位勳六等  
農學士 針塚長太郎 群馬縣平民

教授

蠶桑論 (兼) 長野縣技師從五位勳五等 農學士 三吉米熊 山口縣土族

蠶業汎論 從五位 農學博士農學士 大森順造 東京府平民

微生物及蠶体病理學、昆蟲學 從五位 農學博士農學士 大森順造 東京府平民

職 員

簿記及經濟學 法正七位 阿形輝司 群馬縣土族



化學、同實驗、色染論

正七位 朝比奈 晃 十

靜岡縣平民

修身、國語及漢文

學生課長

正七位 新樂 金 橘

靜岡縣土族

物理學及氣象學、物理實驗

正七位 築地 宜 雄

熊本縣土族

製絲學、製絲實習、工場管理論

從七位 三谷 徹

島根縣平民

(外國留學中)

從七位 勝木 喜 董

東京府平民

(外國留學中)

從七位 大瀧 照 太郎

岡山縣平民

英語、第二外國語(佛蘭西語)

從七位 和田 仙 太郎

福島縣土族

化學、同實驗、土壤肥料學

從七位 川瀨 惣 次郎

德島縣平民

絹絲紡績論、機械設計及製圖  
機械工學、應用力學

工學士 石倉 新 十郎

群馬縣平民

助教 授

養蠶學、蠶兒飼育  
圃場實習、蠶具製造

水 井 壽 一 郎

長野縣平民

撚絲及機織論、撚絲實習

平 本 常 三 郎

栃木縣平民

製絲原料論、殺蛹乾繭及屑物整理論  
屑物整理、繭檢査

講師

(囑託日附順)

下田 穰

東京府平民

體操

陸軍歩兵中尉  
從七位勳六等功五級

金子 薫藏

群馬縣士族

數學

原田 親雄

北海道士族

生絲整理及生絲檢査

今泉 修一

愛知縣平民

蠶体生理及蠶体解剖學、蠶体病理

農學得業士

工藤 文太郎

岩手縣平民

染織

黒子 二郎

東京府士族

農學大意、農蠶業經營學  
製絲業經營學、第二外國語(獨逸語)

農學士

早川 直瀨

群馬縣士族

動物、植物、桑樹論及實習

農學士

田中 長三郎

兵庫縣平民

工場衛生

醫學士

田中 清

長野縣平民

書記

會計課長

池田 松太郎

奈良縣平民

雇

勳七等

新島 藤作

新潟縣士族

小澤 綱吉

神奈川縣平民

阿形 銳司

群馬縣士族

坂部 信治

静岡縣平民

荒木 紀僕

長野縣士族

都筑 貞吉

長野縣士族

金井 喜右衛門

長野縣平民

吉澤 信三

長野縣平民

和田 主計

長野縣平民

勳七等功七級

雇

(養蠶教師)

高橋 清七

群馬縣平民

雇

(助手)

職  
員

船越泉	京都府平民
岩岡末彦	福岡縣士族
岩田清丸	靜岡縣平民
近藤勝治	長野縣平民
龍猛人	福岡縣士族
澁澤仙造	長野縣平民
齋藤董一郎	長野縣平民
齋藤良三郎	富山縣平民
目崎三郎	群馬縣平民
松林竹肥虎	長野縣平民
浦野常三郎	滋賀縣士族
新田直躬	岩手縣平民
內海豐	長野縣平民
仲井茂三郎	長野縣平民

教 婦 (雇)

松 岡 ア イ 熊本縣平民

中 川 マ キ 徳島縣平民

山 邊 キ ク 長崎縣士族

植 松 し す 静岡縣士族

樋 口 ジ ュ 奈良縣平民

沼 尾 光 子 栃木縣平民

森 澤 桑 子 東京府平民

校 醫

ドクトル 岡 本 正 喜 長野縣士族

醫學士 田 中 清 長野縣平民

囑 託

東京高等工業學校教授  
兼 文 部 省 視 學 官

正五位勳五等  
理 學 士

吉 武 榮 之 進 東京府平民

# 第七 學生

## 一、學生氏名

○六特待生  
中、農、農林、蠶、師範、出身學校

### 養蠶科 第壹學年

栗林	悅	蠶	長野縣平民	加藤	喜一郎	中	群馬縣平民
近藤	正巳	中	靜岡縣士族	塚田	柁春	中	長野縣平民
中山	鑑一	中	茨城縣平民	小林	庸	中	千葉縣平民
青木	針三郎	中	栃木縣士族	長瀬	深見	中	長野縣平民
佐藤	尙雄	中	栃木縣平民	峰村	眞一郎	中	長野縣平民
中澤	勝也	中	長野縣平民	八木	誠政	中	長野縣士族
荻田	恭一	中	島根縣平民	矢住	道也	中	熊本縣平民
小見	益男	中	群馬縣平民	吉川	伊太郎	師	奈良縣平民
芝	荒雄	中	愛媛縣平民	坂本	昌造	蠶	山梨縣平民
久保田	正樹	中	長野縣平民	福家	省太郎	中	香川縣平民

學生

角田勝彌 農林 群馬縣平民

林周藏 農林 和歌山縣平民

清水漸 中 長野縣平民

寺島親雄 中 長野縣平民

平澤勝 中 長野縣平民

稻石佐一 中 愛知縣平民

須田今三 中 埼玉縣平民

藤政次郎 農 福岡縣平民

齋藤格次 中 埼玉縣平民

安孫子文彌 中 山形縣平民

小林禮二 中 愛知縣平民

市村幹司 蠶 長野縣平民

佐藤久太郎 蠶 福島縣平民

河野佐之助 中 埼玉縣平民

中根廣 中 茨城縣平民

計 三五

養蠶科 第貳學年

高橋三哲 中 岐阜縣平民

小川保 中 廣島縣平民

坂田榮雄 中 長野縣平民

飯島正胤 中 長野縣平民

今井田福雄 中 三重縣平民

唐澤正平 蠶 長野縣平民

矢島剛 中 長野縣平民

朝長勝治 中 長野縣土族

幾田精一 中 愛知縣平民

小澄晋 中 熊本縣平民

大石卓壽	中	靜岡縣平民	有賀亮敏	中	長野縣平民
堀本省一	中	靜岡縣平民	倉澤美徳	蠶	長野縣平民
小高喬	中	埼玉縣平民	佐藤良太郎	中	靜岡縣平民
林新一	中	山口縣平民	中山清四郎	中	茨城縣平民
北村一郎	中	長野縣平民	小林國造	中	群馬縣平民
穗坂小牧	中	山梨縣平民	小島五郎	中	群馬縣平民
須田圭二	中	群馬縣平民	濱井壽夫	中	廣島縣士族
戸倉八峰	中	靜岡縣平民	久保田秀男	中	長野縣平民
磯野良知	蠶	山梨縣平民	横山勝義	中	宮城縣平民
西村敬之助	中	廣島縣平民	黒江文雄	中	宮城縣平民
宮坂正彦	中	長野縣平民	小笠原安重	中	愛知縣士族
北澤茂	中	長野縣平民	藤原卓之	中	岡山縣平民
仙場秀次郎	農	山形縣士族	小松原徳治	中	神奈川縣平民

計 三三六

學生

一一九



養蠶科第參學年

○原 田 兵 衛 中 山形縣平民

○松 村 季 美 中 長野縣平民

矢 澤 茂 登 一 中 長野縣平民

篠 田 平 三 郎 中 新潟縣平民

宮 城 嘉 貞 中 長野縣平民

堀 越 彌 策 中 群馬縣平民

森 干 城 農 石川縣平民

宮 本 昇 中 石川縣平民

本 間 直 人 中 宮城縣平民

丸 山 俊 一 郎 中 長野縣平民

岩 本 市 郎 中 愛媛縣平民

塚 本 勝 彰 中 奈良縣土族

菅 澤 隆 三 中 島根縣平民

○秋 山 俊 興 中 茨城縣平民

向 山 隆 福 蠶 山梨縣平民

鶴 田 定 平 蠶 山梨縣平民

蘆 沼 兵 司 中 長野縣平民

市 川 恕 平 中 長野縣平民

篠 原 善 次 農 栃木縣平民

上 原 清 夫 中 長野縣平民

牧 野 金 次 郎 中 長野縣平民

工 藤 一 二 三 中 大分縣平民

田 附 卯 一 郎 農 滋賀縣平民

松 澤 德 榮 中 長野縣平民

北 原 末 吉 中 長野縣平民

高 橋 善 吾 中 長野縣平民

湯川 秀夫 中 鳥取縣平民

奧田 達雄 中 鳥取縣士族

大名 昇 蠶 福島縣士族

波多野 千里 中 島根縣士族

野澤 泰治 蠶 愛知縣平民

松野 正一 中 神奈川縣平民

佐谷戸 健次郎 中 茨城縣平民

大町 省三 農林 高知縣平民

藤 金 作 中 福島縣平民

清水 達太郎 農 靜岡縣平民

宮川 寅之助 中 長野縣平民

定光 朝太郎 中 山口縣平民

荻野 巖 中 群馬縣平民

水野 米太郎 中 枋木縣平民

小山 庸人 中 長野縣平民

山本 辰五郎 農 神奈川縣平民

菅原 勇治 中 宮城縣平民

牛山 作彌 中 長野縣平民

絹村 貢 中 靜岡縣平民

製絲科 第壹學年

計 四五

高木 三治 農 長野縣平民

堀江 尙 中 長野縣士族

竹内 五之助 中 長野縣平民

水野 健吉 中 長野縣平民

白田 詮雄 中 長野縣平民

加美 好男 蠶 德島縣平民

飯島直中 栃木縣士族

山岸松次 蠶 長野縣平民

小笠原振一 蠶 兵庫縣平民

山内琢郎 農林 岐阜縣平民

安藝剛毅 蠶 德島縣平民

上野榮仁 中 長野縣平民

栗田虎太郎 中 山形縣士族

倉澤泰平 中 長野縣平民

神保喜久 蠶 富山縣平民

鹽見喜六 中 京都府平民

安藝虎彦 中 高知縣士族

菅井辰三郎 中 宮城縣平民

中村義太郎 中 德島縣平民

高山郷一 中 長野縣平民

長野充博 中 熊本縣平民

杉野壽一 中 愛媛縣平民

征矢桂三 中 長野縣平民

林貞三 中 長野縣平民

山本米次 中 群馬縣平民

田中教一 中 神奈川縣平民

中川瀨 中 茨城縣平民

岡部彌平 中 群馬縣平民

菰田得一 中 千葉縣平民

森國彦 中 鹿兒島縣平民

菊地季吉 中 茨城縣平民

吉澤平藏 中 長野縣平民

計 三二二

製絲科 第貳學年

湯淺	栗原	佐々木	見波	坂卷	大崎	大箸	岸	宮田	甲斐	塚田	田浦	○永井
長輝	忠夫	峰二	忍	文彦	忠一	政平	益吉	欽五郎	孜	鎮磨	準	榮
中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	蠶	中	中
島根縣平民	茨城縣平民	靜岡縣平民	新潟縣平民	靜岡縣士族	埼玉縣士族	靜岡縣平民	群馬縣平民	東京府平民	大分縣平民	長野縣平民	熊本縣平民	長野縣平民
土屋	芝崎	向山	高尾	中川	沖	樋口	佐藤	戶田	矢田	細川	甲斐	兒玉
保平	龍三	紀元	歲次	川	濤	五十三	藤	勝一	部忠吉	川三郎	斐	玉忠雄
中	中	農	中	中	中	中	中	中	中	中	中	蠶
長野縣平民	大阪府平民	長野縣平民	長野縣平民	山口縣士族	福岡縣平民	長野縣平民	長野縣平民	靜岡縣平民	和歌山縣士族	長野縣平民	大分縣平民	長野縣平民

岡田康三 中 京都府平民

竹内眞喜雄 中 長野縣平民

甲田昇 中 長野縣平民

蒲地深 中 長崎縣平民

鈴木鍊一 中 静岡縣士族

坪井作平 中 埼玉縣平民

若林万吉 中 長野縣平民

計 三三

製絲科 第參學年

○北原保三 中 長野縣平民

○遠藤文平 中 德島縣平民

○宮下雅敏 中 長野縣平民

田口敏夫 中 岐阜縣平民

小林茂雄 中 長野縣平民

中澤周藏 中 長野縣平民

一志藏人 中 長野縣平民

阿部源八 農 山形縣平民

藤澤文雄 蠶 長野縣平民

佐藤正巳 中 新潟縣士族

清水二郎 中 長野縣平民

高田茂重郎 中 群馬縣平民

川合軍之助 中 石川縣士族

小山健次郎 中 長野縣平民

依田信一 中 長野縣平民

中澤忠 中 長野縣平民

土岐宣治 中 埼玉縣平民

松村愛信 中 神奈川縣平民

田中	一男	中	和歌山縣士族	森	淳太郎	中	長野縣平民
久保田	柳作	中	長野縣平民	小林	茂樹	中	長野縣平民
三輪	輔	中	長野縣士族	加藤	德四郎	中	靜岡縣平民
田中	敬三	中	長野縣平民	水島	晋一	中	長野縣平民
山浦	藤藏	中	長野縣平民	岩住	正明	蠶	富山縣平民
織田	博	中	靜岡縣平民	小穴	潤一郎	中	長野縣平民
後藤	富次郎	中	廣島縣平民	丸山	忠良	中	長野縣平民
稻石	榮太郎	中	愛知縣平民	太田	清藏	中	和歌山縣平民
清宮	保	中	茨城縣士族	伊藤	競	中	長野縣平民
松井	清三	中	廣島縣平民	林部	源三郎	中	長野縣平民
大塚	成幹	中	東京府士族	田中	三郎	中	佐賀縣士族
鈴木	誠一	中	茨城縣平民	計	四一		

養蠶科選科生

林漢

龍

朝鮮

朴

壩

燮

朝鮮

學生

金 學 仁	朝 鮮	今 井 又 藏	山形縣平民
折 茂 正 太 郎	群馬縣平民	上 山 巖	嶋根縣平民
栗 原 貫 次	群馬縣平民	神 邊 勘 三 郎	愛知縣平民
清 水 郁 平	新潟縣平民	淺 見 好 雄	埼玉縣平民
枝 松 宗 八	山形縣平民	志 田 傳 次 郎	山形縣平民
高 山 長 五 郎	群馬縣平民	小 林 笑 保	兵庫縣平民
田 口 博 輔	群馬縣平民	計 一 五	

二、學生地方別

地 方	一年	蠶 科	一年	製 絲 科	計	百分率
	二年	蠶 科	二年	製 絲 科		
北 海 道						
青 森						
秋 田						

山 長 群 埼 東 神 千 茨 栃 新 福 山 宮 岩  
 梨 野 馬 玉 京 川 葉 城 木 潟 島 形 城 手

一	一	三	三			一	二	二			一	一	
二	一	三	一		一							二	二
二	一	二			二		二	二	一		二	一	二
五	三	八	四		三	一	五	四	一		三	三	四
	一	二			一	一	二	一				一	一
	一	一	一				一						
	二	一	一	一			二					一	
	四	四	三	二	二	一	五	一	二		二	一	
一	八	一	七	二	五	二	〇	五	三	三	五	五	
三	六	五	三	一	二	一	四	二	二	二	二	二	

學  
生



鳥 兵 京 大 和 奈 富 石 福 滋 三 岐 愛 靜  
歌

取 庫 都 阪 山 良 山 川 井 賀 重 阜 知 岡

二 一

一 一 二 四

二 一 二 一 一 二

二 一 二 二 一 一 一 五 七

一 一 一 一

一 一 一 五

二 一 一 二

一 二 一 三 二 一 二 一 七

二 一 二 一 四 二 二 三 一 一 三 六 一 四

一 一 二 一 一 二 二 四 六

上田蠶絲專門學校一覽





栃木			新潟		福島		山形		
全	縣立	全	私立	全	全	全	縣立	全	私立
佐野中學校	栃木中學校	宇都宮中學校	有恒學舎	小千谷中學校	長岡中學校	蠶業學校	山形中學校	莊內農學校	東北中學校
						—	—		
						—	—		
						—	—		
						—	—		

神奈川		千葉			茨城				
立	私	全	縣立	全	全	全	縣立	郡立	全
返子	開成	第三	第一	千葉	佐倉	水戸	土浦	朽木	太田
中學校	中學校	中學校	中學校	中學校	中學校	中學校	中學校	農學校	原中學校

埼玉			東京								縣立中郡農業學校	
全	全	縣立	全	全	全	全	全	全	全	全		私立
熊谷中學校	浦和中學校	川越中學校	攻玉舍中學校	京華中學校	明治學院	日本中學校	東京中學校	立教中學校	商工中學校	錦城中學校	私立郁文館中學校	
一	一	二							一	一		
											一	
								一		一		二
二		二						一	一	二	一	一
										一		
二												
一												
三	二	二								三		

長野							群馬					
全	全	全	全	全	全	縣立	勢多郡立農林學校	全	全	全	縣立	私立
諏訪中學校	野澤中學校	上田中學校	飯山中學校	飯田中學校	長野中學校	松本中學校		前橋中學校	太田中學校	富岡中學校	高崎中學校	埼玉中學校
一		三	一			二	一	二				一
		四			三	一					一	
二		二		二	六	三			一	一		
三		九	一	二	九	六	一	二	一	一	一	一
	一	五			二	二		一		一		
	一	六			一	一					一	一
一	三	七	一	二	二	四				一		
一	五	八	一	二	五	七		一		二	一	一
一	一	八	一		二	四	一	三		一		一
	一	〇			四	二					二	一
三	三	九	一	四	八	七			一	二		
四	五	二七	二	四	四	三	一	三	一	三	二	二

愛知			静岡					山梨				
私立名古屋中學校	全 第四中學校	縣立 第二中學校	全 蠶業學校	郡立 榛原中學校	全 農學校	全 掛川中學校	全 濱松中學校	縣立 静岡中學校	郡立 山梨蠶業學校	全 甲府中學校	全 上伊那農學校	全 小縣蠶業學校
—	—	—				—			—			二
	—					—	—	—	—	—		二
			—	—	—			二				
—	—	—	—	—	—	—	二	—	四	—		四
											—	二
							三	二		—	—	二
	—		—				—					—
	—		—	—			四	二	—	—	二	五
—	—	—					—		—		—	四
	—					—	四	三	—	二	—	四
	—		—	二	—	—			二			—
—	二	—	—	二	—	—	六	三	四	二	二	九



上田蠶絲專門學校一覽

和歌山	奈良	富山	石川	福井	滋賀	三重	岐阜
全 德義中學校	全 奈良師範學校	全 蠶業學校	全 農學校		縣立 長濱農學校		縣立 大垣中學校
全 田邊中學校	全 郡山中學校		縣立 七尾中學校				全 東濃中學校
							全 農林學校
	一						
							一
	一		一 一		一		
	一 一		一 一		一		一
		一					一
一							
		一					一
二							
二		二					一 一
		一					一
一							
							一
二	一	一	一 一		一		一
二	一 一	二	一 一		一		一 一

德島	香川	山口	廣島	岡山	島根	鳥取	兵庫	京都	大阪	
全	全	全	全	全	全	縣立		全	府立	全
脇町中學校	高松中學校	岩國中學校	明道中學校	津山中學校	濱田中學校	米子中學校		第三中學校	今宮中學校	農林學校
	一				一					一
		一	一	一						
		一			一	一				
	一	二	一	一	二	一				一
一								一		
					一				一	
一						一		一	一	
一	一				一			一		一
		一	一	一	一				一	
		一			一	一				
一			一	一	三	一		一	一	一

上田蠶絲專門學校一覽

熊本	長崎	佐賀	福岡			大分		愛媛		高知		
全	縣立中學玖島學館		全	全	全	全	全	全	全	全	縣立第一中學校	板野郡立蠶業學校
熊本中學校			福岡農學校	中學傳習館	修猷中學校	大分中學校	竹田中學校	西條中學校	宇和島中學校	農林學校		
			—					—				
—	—				—		—		—	—		
—	—		—		—		—	—	—	—		
—								—			—	二
—	—		—			二						
—												
三	—		—			二		—			—	二
—			—					—	—		—	二
二	二		—			二						
—					—		—		—			
四	二		—	—	—	二	—	—	—	—	—	二

#### 四、學生修業學校別

計	沖繩	鹿兒島	宮崎	全
		全		八代中學校
		川邊中學校		
三五				一
三六				
三四				
五二				二
六一				
三三		一		
三三				
三三				
四二				
二〇		一		
六六		一		一
六七				
六九				
八六				
三三		一		一

修業學校	蠶	蠶	科	製	絲	科	計	百分率
中 學 校		九四				九三	一八七	八四
農 業 學 校		七			三	一〇		四
農 林 學 校		三			一	四		二
蠶 業 學 校	一	一			九	二〇		一〇
師 範 學 校	一					一		

學 生

一三九



	岩手			秋田			青森			北海道		
第一回	第二回	第二回	第二回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回
五		一	三	四	二	三	一				一	二
二												
一	一		一	一	三	一					一	
						一						
六	一	一	四	五	五	四	一				二	一
二						一						
二	一		一	三	二	一	一				一	
三						一						
三						五						

朽木		新瀨			福島			山形			宮城	
第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第三回	第二回	
二	八	一	二	七	四	五	六	二	六	八	四	
	二			一	一		二	一		二	二	
二		二	二	三	二	二	二	二	二	五	二	
			一	一				一		一	一	
四	八	三	四	一〇	六	七	八	四	八	一三	二	
	二		一	二	一		二	二		三	一	
一	二	二	一	三	四	三	二	二	三	三	一	
	二		一	二	二		二	三		三	二	
	四		四	五	六		四	二		四	二	

東京			神奈川			千葉			茨城			
第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回
一	一		二		四	三	三	一	六	八	九	二
					三	一			二	一	二	二
一	四	五	三	一	三	一		三	二	五	七	二
	一	一	一		一	一			二	二	二	一
二	五	五	五	一	七	四	三	四	八	一	一	四
	一	一	一		四	二			四	三	四	三
一	二	一	三		二	二	一	一	五	五	四	二
	一	一	二		四	三			六	四	四	五
五	五		五		二	二			二	四	四	一



	山梨			長野			群馬			埼玉		
	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回
八	六	八	八	一五	三一	三九	六	八	一二	四	五	四
二	一	二	二	一一	一一	一四	三	三	二	三	一	
六		一	四	一八	五四	九八	四	三	一二		二	九
二				一一	一一	二二	二	一	一		二	二
一四	六	九	一二	三三	八五	一三七	一〇	一一	二四	四	七	二三
四	一	二	二	二三	二三	三六	五	四	三	三	三	一
四	四	三	三	二〇	三一	三四	六	四	六	二	三	三
四	二	三	二	三五	三二	四〇	八	六	三	五	四	一
四	六	五	六	一	四	四	三	三	八	一	二	二

滋賀		三重			岐阜			愛知			靜岡	
第二回	第一回	第二回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第三回	第二回	
	一	一	三	一	三	五	一	六	〇	一	三	九
	一		一			一		二	二	一	一	四
		一	二	二	一	二	八	二	二	四		五
					一		一			一		五
	一	二	五	三	四	七	九	八	一	一	三	一
	一		一		一	一	一	二	二	二	一	九
		一	二	一	二	三	二	五	四	三	二	五
	一		一		二	一	一	三	三	二	二	一
	一		五		四	七	九	四	六	七	三	二

奈良			富山			石川			福井			
第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回
一	一	一	一	二	六	二	二	四		一		一
一		一						二				
		二	一	二	三			五		二		一
			一		一			一				
一	一	三	二	四	九	二	二	九		一	二	二
一		一	一		一			三				
一		一	一	一	二	一	一	二			一	一
二		一	二		一			三				
一		三	二		九			三				

	兵 庫			京 都			大 阪			和 歌 山		
第一回	第二回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第二回	第二回	第一回	第二回	第二回	第一回
四	—	—	—	三	—	—	—	—	—	—	—	—
二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	三	—	二	—	—	三	—	—	—	—	二	二
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二
四	四	—	三	四	—	四	—	—	—	—	一	三
二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	二	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—
二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二	二	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—
二	四	—	—	四	—	四	—	—	—	—	—	—

山口		廣島			岡山			島根			鳥取	
第一回	第二回	第一回	第二回	第三回	第一回	第二回	第三回	第一回	第二回	第三回	第二回	第三回
一	二	一	六	一	一	二	二	三	四		四	
一	一		三		一		一		二			
三	四	一	一	三			一	二				
一				二				一				
三	六	二	七	四	一	二	三	五	四		四	
五	一		三	二	一		一	一	二			
一	二	一	三	一		一	二	二	一		一	
三	一		四	二	一		二	一	二			
二	六		四	二	一		三	五	二			

愛 媛			高 知			德 島			香 川			第 三 回
第 三 回	第 二 回	第 一 回	第 三 回	第 二 回	第 一 回	第 三 回	第 二 回	第 一 回	第 三 回	第 二 回	第 一 回	第 三 回
四	五	四		一	五			二	一		一	
一		一			一				一			
一	二		一	一		三	三	三			二	
一			一			三		一				
五	七	四	一	二	五	三	三	五	一		三	
二		一	一		一	三		一	一			
三	三	一	一	一	一	二	一	一	一		一	
三		一	二		一	五		一	二			
三		四	一		五	一		五	一			

	長崎			佐賀			福岡			大分		
	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回
第一回	三	四	一	一	一	一	一	一	三	二		一
二							一					一
三		二		一	二	二	一	一	一		二	
		一				一		一			二	
五	三	六	一	二	三	三	二	二	四	二	二	一
		一				一	一	一			二	一
一	二	二		一	一	一	一	二	一	一	一	
		一				一	二	一			三	一
	六					三	二	二			一	一

計	沖繩			鹿兒島			宮崎			熊本	
	第二回	第一回	第三回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回
一五二	一八八		一			二		一	一	四	一
三五	四七									一	一
一二七	二二三		一	二	二	五		一		三	二
三六	四三			一						一	一
二七八	四〇一	一	一	一	二	二	七	一	二	七	三
七二	九〇				一					二	二
一〇〇	一〇〇										
一〇〇	一〇〇	一			一	一	二	一	一	四	一
一〇〇	一〇〇									三	三
四	四									四	二



平均	一	一四、七	三九、	三三、五、	三七、	二六、七	七六、	一〇〇	一〇〇	四
累計	三三	四四〇	一一七	四〇五	一一二	八四五	三二八	三〇〇	三〇〇	一一
第三回	一〇二	三五	六五	三三	二六六	六七	一〇〇	二〇〇	三	

(備考) 入學率トハ入學者一人ニ對スル入學志願者ノ數トス

### 七、入學志願者及入學者修業學校別

修業學校	入學試驗			養蠶科			製絲科			計			百分率
	第一回	第二回	第三回	入學志願者	入學者	入學率	入學志願者	入學者	入學率	入學志願者	入學者	入學率	
中學學校	第一回	一三三	三六	一八五	四〇	三一八	七六	七九	八四			四	
	第二回	一一一	三二	九八	三三	二一九	六五	七八	九一			三	
	第三回	七二	二七	四五	二五	一一七	五二	七〇	七八			二	
農學校	第一回	二九	六	一八	一	四七	七	一二	八			七	
	第二回	一〇		一〇	一	二〇	一	七	一			〇	
	第三回	一〇	一	八	一	一八	二	一一	三			九	

專門學校入	工業學校			師範學校			蠶業學校			農林學校		
	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回	第三回	第二回	第一回
				一	一		一	一六	一六	七	三	一〇
				一			四	三	四	二		一
		二			一	二	九	一三	六	三	二	二
							五	二	二	一		
		二		一	二	二	二〇	二九	二三	一〇	五	一二
				一			九	五	六	三		一
		一		一	一	一	一二	一〇	五	六	二	三
				一			一三	八	七	五		一
				一			二	六	四	三		一二

學者檢定試驗合格者

累計	計			第三回	第二回
	第一回	第二回	第三回		
三	一八八	一五一	一〇一		
四四〇	四七二	三五五	三五		
一一七	二二三	一二七	六五		一
四〇五	四三〇	三六二	三二		
一一一	四〇一	二七八	一六六		一
八四五	九〇一	七一〇	六七		
二二八	一〇〇	一〇〇	一〇〇		一
三〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇		
三〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇		
一一、	四、	四、	三、		

# 附 錄

## 一、上田蠶絲專門學校校友會規則

第一條 本會ハ會員相互ノ交誼ヲ厚クシ智徳ヲ磨キ身體ヲ鍊リ以テ本校ノ校風ヲ發揮スルヲ目的トス

第二條 本會ヲ上田蠶絲專門學校々友會ト稱ス

第三條 本會ノ會員ハ左ノ四種トス

一、通常會員 本校學生

二、特別會員 本校卒業生

三、贊助會員 本校職員及本校ニ縁故アル者

四、名譽會員 會長ノ推薦ニ係ル者

第四條 本會ノ目的ヲ達センカ爲メ左ノ三部ヲ置ク

一、文藝部

二、運動部

三、庶務部

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長 一名

二、副會長 一名

三、部長 三名

四、評議員 若干名

五、掛長 若干名

六、委員 若干名

第六條 役員ノ職務ハ左ノ如シ

一、會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

二、副會長ハ會長ヲ補佐シ會長ノ故障アルトキハ之ヲ代理ス

三、部長ハ會長ノ指揮ニ從ヒ各部ノ事務ヲ統轄ス

四、評議員ハ役員會議ニ列席シ意見ヲ述ヘ議決ニ參與ス

五、掛長ハ部長ノ指揮ニ從ヒ各部ノ分擔事務ヲ掌理ス

六、委員ハ部長及掛長ノ指揮ニ從ヒ各部ノ分擔事務ニ從事ス

第七條 會長ニハ學校長ヲ推戴シ副會長、部長、評議員及掛長ハ贊助員中ニ就キ會

長ノ指名トシ委員ハ學生ノ互選トス

第八條 役員ノ任期ハ一箇年トシ毎年二月之ヲ選任ス

第九條 本會全體ニ關スル事項ハ役員會議ノ議決ニ依ル

役員會議ニ於テハ左ノ事項ヲ議決ス

一、規則及細則ノ制定及改廢

二、豫算及決算ニ關スル事項

三、運動會ニ關スル事項

第十條 役員會議ハ毎年二月會長之ヲ召集ス但必要ノ場合ニハ臨時召集スルコ

トアルヘシ

第十一條 役員會議ハ總役員ノ三分ノ二以上出席スルニ非サレバ議事ヲ開キ議

決ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條 役員會議ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決ス

ル所ニ依ル

第十三條 本會ノ經費ハ會費及寄附金ヲ以テ之ニ充ツ

一、通常會員ハ入會ノ際入會金トシテ金壹圓ヲ庶務部ニ納付スヘシ

二、通常會員ハ會費トシテ授業料納付期毎ニ金壹圓ヲ庶務部ニ納付スヘシ

三、名譽會員贊助會員及特別會員ハ別ニ會費ヲ徴收セス

第十四條 本會ノ會計年度ハ三月一日ヨリ翌年二月末日迄トス

第十五條 本會ノ收支決算ハ毎年三月之ヲ報告ス

第十六條 本規則ハ役員會議ノ議決ニヨリ之ヲ改正スルコトヲ得

前項ノ議決ハ出席役員四分ノ三以上ノ多數ヲ得ヘキモノトス

第十七條 委員ノ選舉及各部ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

## 二、校友會役員

會長 針塚長太郎

副會長 大森順造

評議員

三吉米熊

築地宣雄

和田仙太郎

川瀬惣次郎

石倉新十郎

田中長三郎

文藝部長 大森順造

辨論部掛長 三谷徹

辨論部委員 宮本昇

中澤周藏

北澤茂

沖濤治

佐藤尙雄

飯島直

編輯部掛長 新樂金橘

編輯部委員 篠田平三郎

小穴潤一郎

大石卓壽

永井榮

塚田柁春

堀江尙

運動部長 朝比奈晃十

劍道部掛長(兼) 齋藤良三郎

劍道部委員 奥田達雄

土岐宣治

小川保

田浦準

加藤喜一郎

長野充博

柔道部掛長 齋藤良三郎

柔道部委員 矢澤茂登一

水島晋一

小澄晋



蒲地 深 荻田恭一 高山郷一

庭球部掛長 黒子二郎

庭球部委員 宮城嘉貞 三輪 輔 朝長勝治

佐藤 薫 須田今三 小笠原振一

弓術部掛長 近藤 勝治

弓術部委員 菅原勇治 藤澤文雄 飯島正胤

鈴木鍊一 近藤正巳 菅井辰三郎

庶務部長 阿形輝司

庶務部掛長 池田松太郎

庶務部委員 松村季美 遠藤文平 小島五郎

高尾歳次 高木三次 佐藤久太郎

上田蠶絲專門學校一覽終

大正二年六月五日印刷  
大正二年六月十日發行

(非賣品)

編輯兼  
發行

# 上田蠶絲專門學校

電話四〇六番

長野縣小縣郡上田町乙四百九十番地  
印刷者 中澤勝治郎

電話一三三番

長野縣小縣郡上田町乙四百九十番地  
印刷所 中澤活版所

電話一三三番